

令和5年度 市民意識調査

市民主体のまちづくりについて

令和5年12月

北九州市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査の実施	3
4 回収結果	4
II 調査結果	5
1 回答者の構成	5
2 調査結果の概要	6
(1)北九州市自治基本条例の認知度	6
(2)自治会のあり方(市民と行政の役割分担)	9
(3)自治を進めるために必要なこと	13
(4)市が発信する情報の入手先	17
(5)発信する情報のうち、興味のあるもの	21
(6)市が発信する情報のわかりやすさ	27
(7)市が発信する情報の量	30
(8)市の情報発信の方法について、改善が必要なもの	33
(9)市政への関心の度合い	37
(10)市民参加の機会	40
(11)市民参加の経験の有無	43
(12)市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感	46
(12)-1 反映されていないと感じる理由	49
(13)市政に意見等を提出したいと考えるか	53
(13)-1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか	56
(13)-2 市政に意見等を提出しようとは思わない理由	60
(14)市民参画を進めるために必要なこと	63
(15)地域活動への参加経験の有無	67
(15)-1 どういった地域活動に参加したことがあるのか	70
(15)-2 地域活動に参加している理由	73
(15)-3 地域活動に参加したきっかけ	77
(15)-4 地域活動に参加しない理由	81
(16)地域活動を支える大切な団体は何か	85
(17)自治会・町内会の活動内容の認知度	88
(17)-1 知っている自治会・町内会の活動	91
(18)自治会・町内会への加入状況	94
(18)-1 加入していない理由	97

(19)住民主体のまちづくりの必要性	101
(19)－1 住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由.....	104
(20)住民主体のまちづくりを進めるために行政がやるべきこと.....	108
3 まとめ	112
資 料 編	119
1 クロス集計表	119
2 調査票.....	157

市民主体のまちづくりについて

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、「市民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成 22 年 10 月に施行した。同条例において、市は、「市民主体のまちづくり」を実現するため、「情報共有」「市民参画」「コミュニティの活動」等を積極的に推進することとしている。

そこで今年度は「市民主体のまちづくりについて」をテーマとし、市民が市政やまちづくりに関心を持つために必要な情報発信の方法や内容(情報共有)、市政に対する市民の意見や提案を市政に反映させる仕組み(市民参画)、また、市民が地域のまちづくりに参加しやすくなる環境等について、市民の意見を把握し、今後の施策検討の資料とするために本調査を実施したものである。

2 調査の設計

(1) 調査票

この調査は、郵送調査で実施するため設問をできるだけ整理し、以下 4 分野 30 項目の設問で構成した。

なお、問 1 については、例年実施している「市政評価と市政要望」の設問であり、問2は今年度新たに追加した設問として、別途報告書作成を行っている。(調査票:巻末参照)

【今年度調査項目】

「北九州市自治基本条例」と「自治」について	
問 3	北九州市自治基本条例の認知度
問 4	自治のあり方(市民と行政の役割分担)
問 5	自治を進めるために必要なこと
「情報共有」について	
問 6	市が発信する情報の入手先
問 7	市が発信する情報のうち、興味のあるもの
問 8	市が発信する情報の分かりやすさ
問 9	市が発信する情報の量
問 10	市の情報発信の方法について、改善が必要なもの
「市民参画」について	
問 11	市政への関心の度合い
問 12	市民参画の機会
問 13	市民参画の経験の有無
問 14	市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感
副問 1	反映されていないと感じる理由
問 15	市政に意見等を提出したいと考えるか
副問 1	どういった方法で市政に意見等を提出したいか
副問 2	市政に意見等を提出しようと思わない理由
問 16	市民参画を進めるために必要なこと
「住民主体のまちづくり」について	
問 17	地域活動への参加経験の有無
副問 1	どういった地域活動に参加したことがあるか
副問 2	地域活動に参加している理由
副問 3	地域活動に参加したきっかけ
副問 4	地域活動に参加しない理由
問 18	地域活動を支える大切な団体は何か
問 19	自治会・町内会の活動内容の認知度
副問 1	知っている自治会・町内会の活動
問 20	自治会・町内会への加入状況
副問 1	加入していない理由
問 21	住民主体のまちづくりの必要性
副問 1	住民主体のまちづくりは必要ないと考える理由
問 22	住民主体のまちづくりを進めるために行政がやること
フェイスシート	性別・年齢・居住歴・職業・居住区

(2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人

[標本抽出]

令和5年3月31日現在の住民基本台帳(20 歳以上 789,766 人)をもとに 3,000 人を等間隔抽出

行政区別の設定標本数

行政区	居住人口	抽出調査対象数	(構成比)
門司区	80,890 人	306人	(0.4%)
小倉北区	154,555 人	599人	(0.4%)
小倉南区	173,693 人	635人	(0.4%)
若松区	68,130 人	250人	(0.4%)
八幡東区	55,086 人	217人	(0.4%)
八幡西区	209,548 人	802人	(0.4%)
戸畑区	47,864 人	191人	(0.4%)
計	789,766 人	3,000 人	(0.4%)

(注1)居住人口は 18 歳以上人口で抽出リード件数である。

(注2)構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

(3)調査方法

郵送調査法

3 調査の実施

この調査は、北九州市広報室広聴課と総務局総務課が主体となり実施したものである。

(1)実査

調査開始 令和5年 5 月 15 日

督促状発送 令和5年 6 月 2 日

回答期限 令和5年 6 月 15 日

(2)集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

※サンプル数が少ない属性(30 人未満)の回答については、分析では触れず、図表に示すのみとする。

4 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,172 票であった。このうち有効回収数は、1,172 票で、有効回収率は 39.1%であった。(昨年度は有効回収数 1,288 票、有効回収率は 42.9%)
なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区 分	抽出調査対象数	有効回収数	回収率
門 司 区	306人	129 人	42.2%
小倉北区	599人	199 人	33.2%
小倉南区	635人	247 人	38.9%
若 松 区	250人	109 人	43.6%
八幡東区	217人	91 人	41.9%
八幡西区	802人	316 人	39.4%
戸 畑 区	191人	81 人	42.4%
計	3,000 人	1,172 人	39.1%

Ⅱ 調査結果

1 回答者の構成

有効回収数 1,172 票の標本構成は下表のとおりである。

回 答 者 の 構 成

N : 1,172 人

性別	男性	女性	無回答				
	468 人 39.9%	695 人 59.3%	9 人 0.8%				
年齢	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答
	68 人 5.8%	107 人 9.1%	144 人 12.3%	190 人 16.2%	234 人 20.0%	421 人 35.9%	8 人 0.7%
居住年数	1 年未満	1 年以上 2 年未満	2 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上 30 年未満
	7 人 0.6%	16 人 1.4%	9 人 0.8%	41 人 3.5%	45 人 3.8%	118 人 10.1%	129 人 11.0%
	30 年以上	無回答					
	798 人 68.1%	9 人 0.8%					
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・ 教員	農・林・ 漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	72 人 6.1%	13 人 1.1%	335 人 28.6%	36 人 3.1%	3 人 0.3%	169 人 14.4%	172 人 14.7%
	学生	無職	その他	無回答			
	22 人 1.9%	289 人 24.7%	51 人 4.4%	10 人 0.9%			
行政区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	129 人 11.0%	199 人 17.0%	247 人 21.1%	109 人 9.3%	91 人 7.8%	316 人 27.0%	81 人 6.9%

令和5年3月31日現在の住民基本台帳による 18 歳以上の北九州市民の性別、年齢、行政区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より6.9 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映したためか、10・20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 7.7 ポイント低く、逆に60 歳代では5.8ポイント、70歳以上では6.4ポイント、調査サンプルのウエイトより高くなっている。

また、行政区別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの3点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

令和5年3月31日現在の住民基本台帳による人口構成（18歳以上）

行政区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	80,890人 10.2%	154,555人 19.6%	173,693人 22.0%	68,130人 8.6%	55,086人 7.0%	209,548人 26.5%	47,864人 6.1%
性別	男性	女性					
	369,615人 46.8%	420,151人 53.2%					
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
	106,495人 13.5%	92,997人 11.8%	121,425人 15.4%	123,642人 15.7%	112,399人 14.2%	232,808人 29.5%	

2 調査結果の概要

(1) 北九州市自治基本条例の認知度

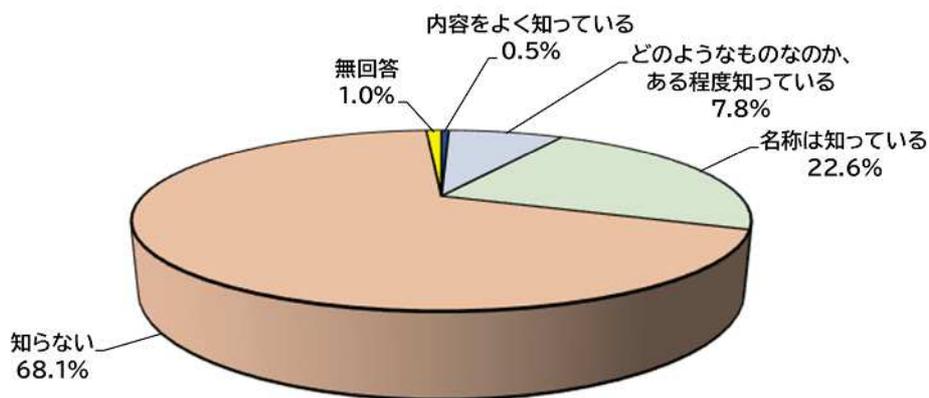
問3 あなたは、平成22年10月1日に施行された北九州市自治基本条例について知っていますか。
次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

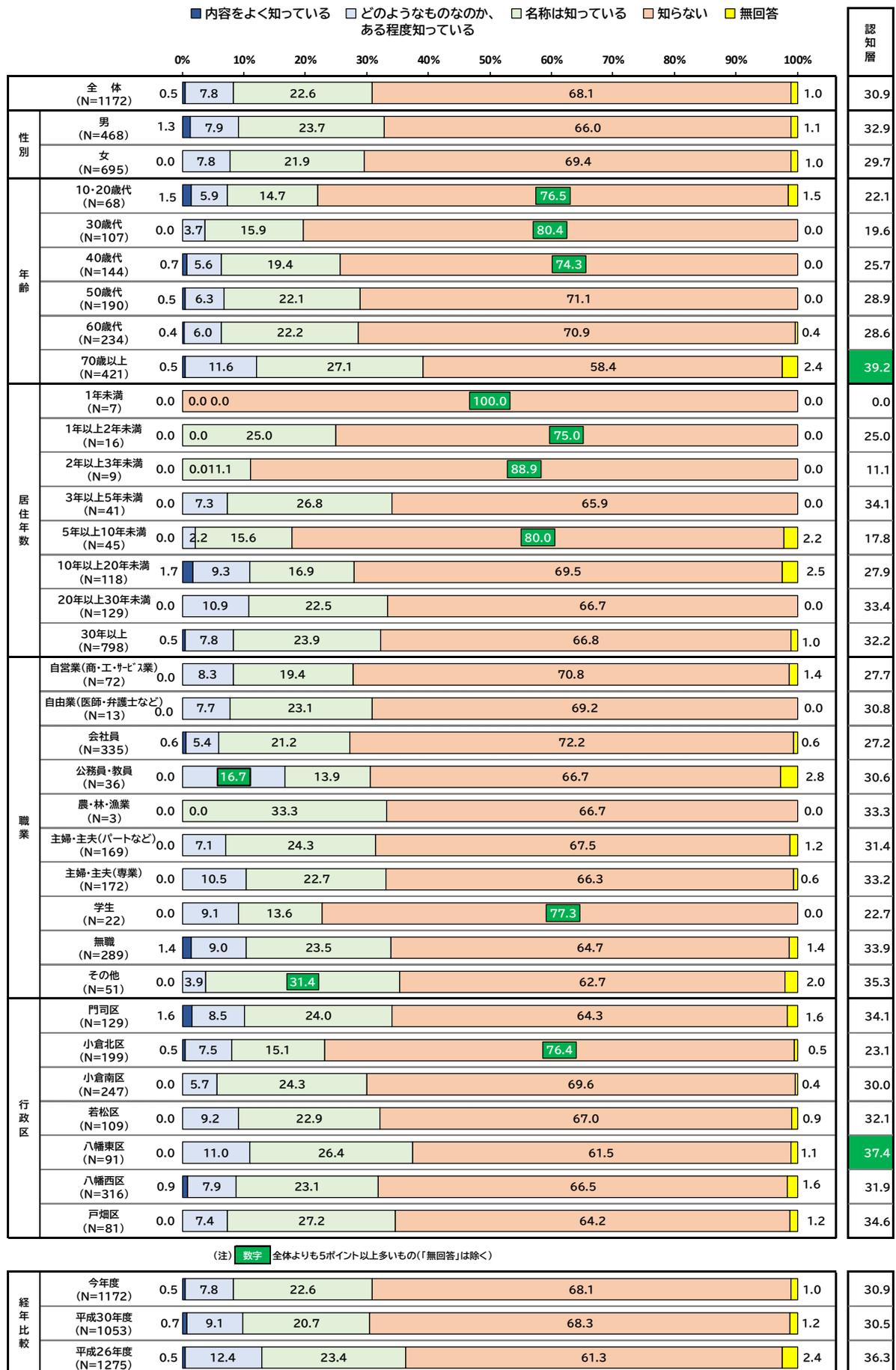
項 目	回答数	割合
1 内容をよく知っている	6	0.5%
2 どのようなものなのか、ある程度知っている	91	7.8%
3 名称は知っている	265	22.6%
4 知らない	798	68.1%
無回答	12	1.0%

◆ 北九州市自治基本条例は、

1位 知らない	68.1%
2位 名称は知っている	22.6%
3位 どのようなものなのか、ある程度知っている	7.8%



問3 北九州市自治基本条例の認知度



北九州市自治基本条例の認知度

【全体的傾向】

「北九州市自治基本条例」について知っているかを尋ねたところ、「知らない」(68.1%)が最も多く、次いで「名称は知っている」(22.6%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(7.8%)の順になっている。

「内容をよく知っている」(0.5%)と「どのようなものなのか、ある程度知っている」「名称は知っている」を合わせた『認知層』は 30.9%で、3割強となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では『認知層』が 32.9%、女性では 29.7%と、ほぼ同水準にあり、大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 10・20 歳代で『認知層』が 22.1%となっているが、30 歳代以上では、年齢が高くなるほど『認知層』が概ね多くなっており、70 歳以上では 39.2%と最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 5 年以上 10 年未満で「知らない」が 80.0%と多くなっている。

※居住年数 3 年未満層のサンプル数は 30 人未満のため分析からはずして、図表に表示するのみとしている。(以下、同様。)

《職業別にみると》

- 公務員・教員で「どのようなものなのか、ある程度知っている」が 16.7%と多くなっている。

※自由業、農・林・漁業、学生のサンプル数は 30 人未満のため分析からはずして、図表に表示するのみとしている。(以下、同様。)

《行政区別にみると》

- 八幡東区で『認知層』が 37.4%と最も多く、小倉北区で 23.1%と、行政区の中で唯一 3 割を下回り、最も低くなっている。

【経年比較】

『認知層』は、平成 26 年度の 36.3%から平成 30 年度は 30.5%に減少したが、今年度は 30.9%に微増したものの、平成 26 年度に比べると 5.4 ポイント減少となっている。

(2) 自治会のあり方（市民と行政の役割分担）

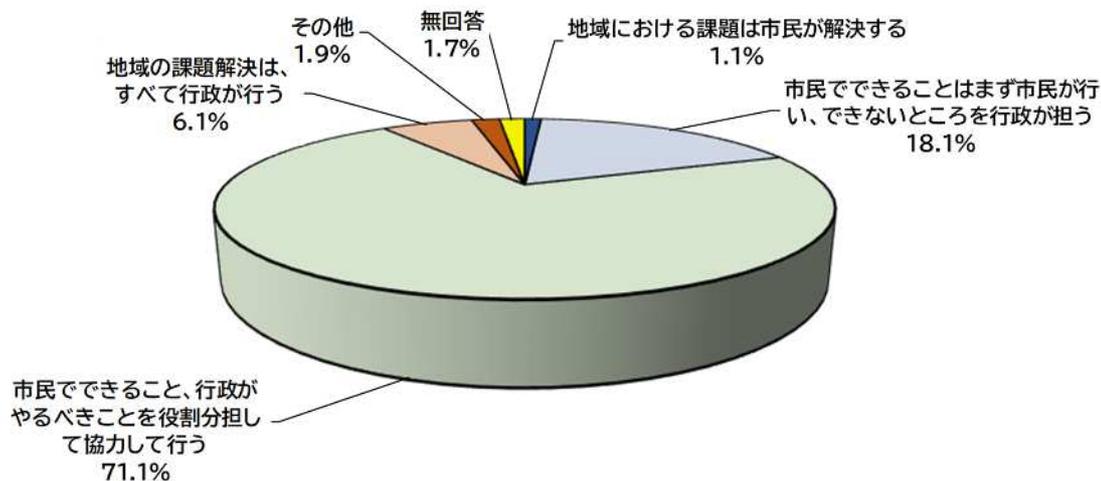
問4 あなたは、「自治」のあり方をどう考えますか。次の中から 1 つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

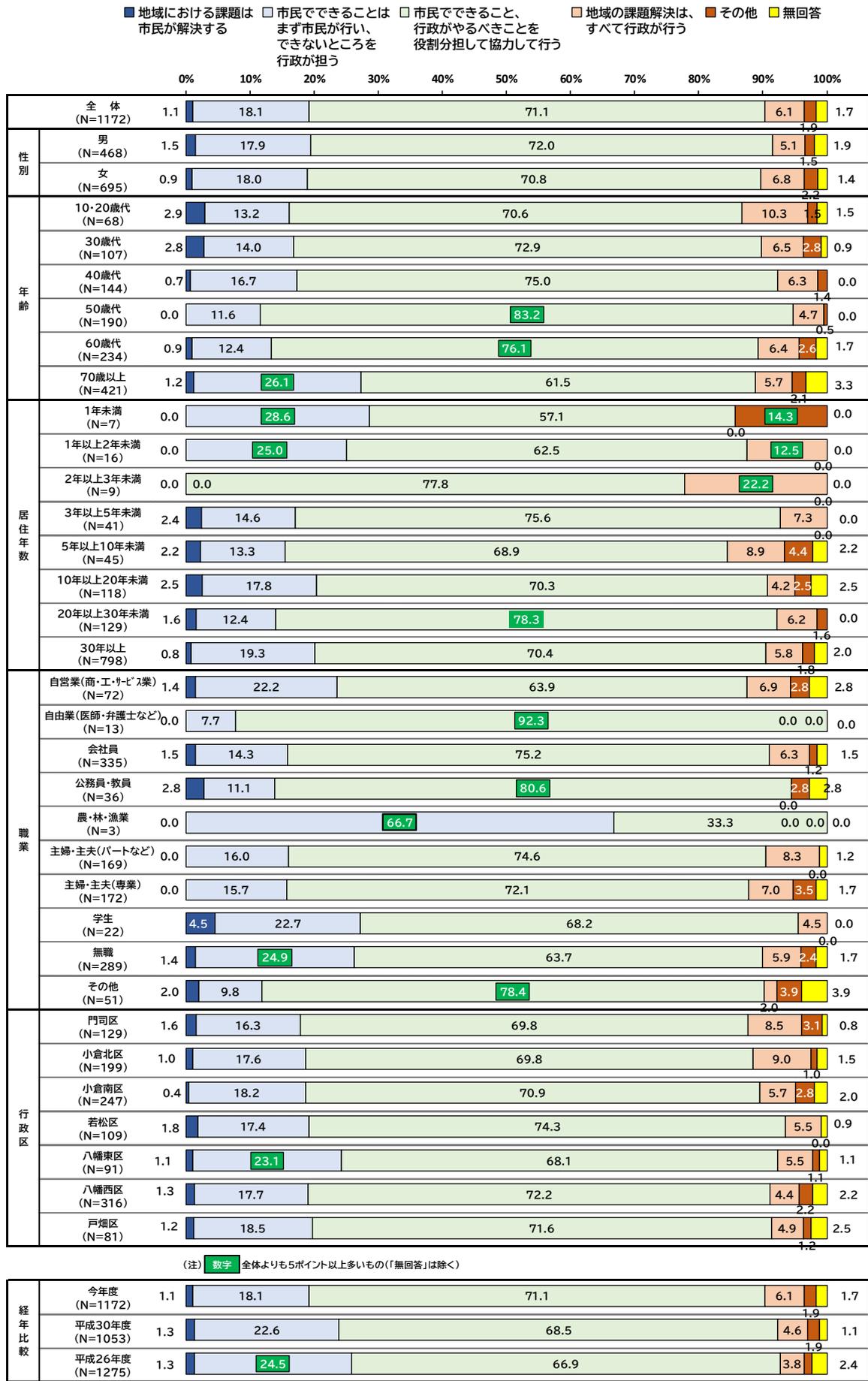
項 目	回答数	割合
1 地域における課題は市民が解決する	13	1.1%
2 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う	212	18.1%
3 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う	833	71.1%
4 地域の課題解決は、すべて行政が行う	72	6.1%
5 その他	22	1.9%
無回答	20	1.7%

◆ 「自治」のあり方は、

1位 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う	71.1%
2位 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う	18.1%
3位 地域の課題解決は、すべて行政が行う	6.1%



問4 自治会のあり方（市民と行政の役割分担）



自治会のあり方（市民と行政の役割分担）

【 全体的傾向 】

「自治」のあり方は、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(71.1%)が最も多く、7割強となっている。次いで「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(18.1%)、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(6.1%)の順になっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- すべての年齢層で「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多いが、中でも50歳代で83.2%、60歳代で76.1%と多くなっている。また、70歳以上では「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」が26.1%と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- すべての層で、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多いが、中でも20年以上30年未満で78.3%と多くなっている。

《職業別にみると》

- すべての層で、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多いが、中でも公務員・教員で80.6%と多くなっている。

《行政区別にみると》

- すべての行政区で、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多いが、八幡東区では「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」が23.1%と多くなっている。

【 経年比較 】

各年度とも、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多く、かつ、その割合(平成26年度66.9%→平成30年度68.5%→今年度71.1%)は増加している。逆に、「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(平成26年度24.5%→平成30年度22.6%→今年度18.1%)は減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- 市民が参加しやすいように訓練、教育を受けたコーディネーターに音頭を取ってもらいたい。地域の指導的な方の従前と変わらない行事等に面白みがなく、高齢化によるためか参加する人が少ないと思う。
- 地区に自治会がないためよくわからない。

- 市民ができる限り行うが、行政との日常的に情報交換し、よりよい方向に進める。
- 役割分担協力すべきであるが、行政が主導すべき。
- 役割分担の見直しが必要と思う。
- 一口で市民と言っても、できる人とできない人がいるので、行政での相談窓口の充実をお願いしたい。
- PPP を重視しつつも市民も行政も役割分担すべきだと思う。

(3) 自治を進めるために必要なこと

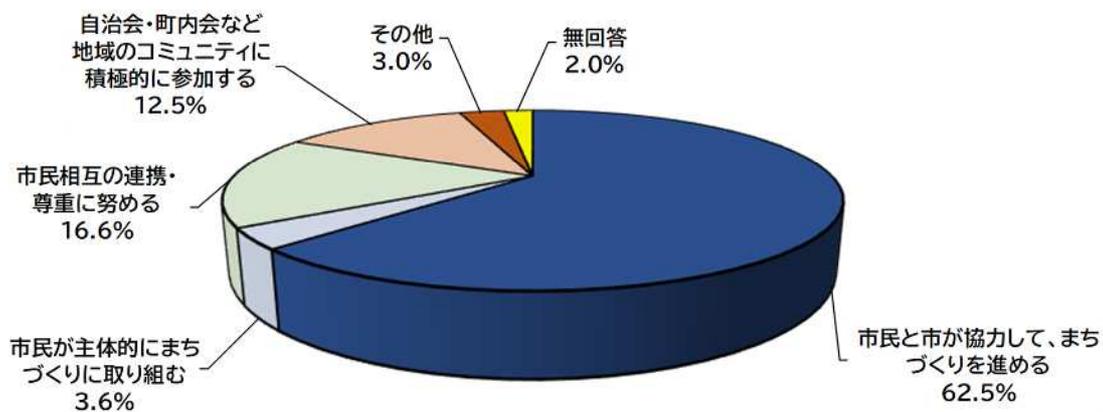
問5 あなたは、「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えますか。次の中から 1 つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 市民と市が協力して、まちづくりを進める	732	62.5%
2 市民が主体的にまちづくりに取り組む	42	3.6%
3 市民相互の連携・尊重に努める	194	16.6%
4 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する	146	12.5%
5 その他	35	3.0%
無回答	23	2.0%

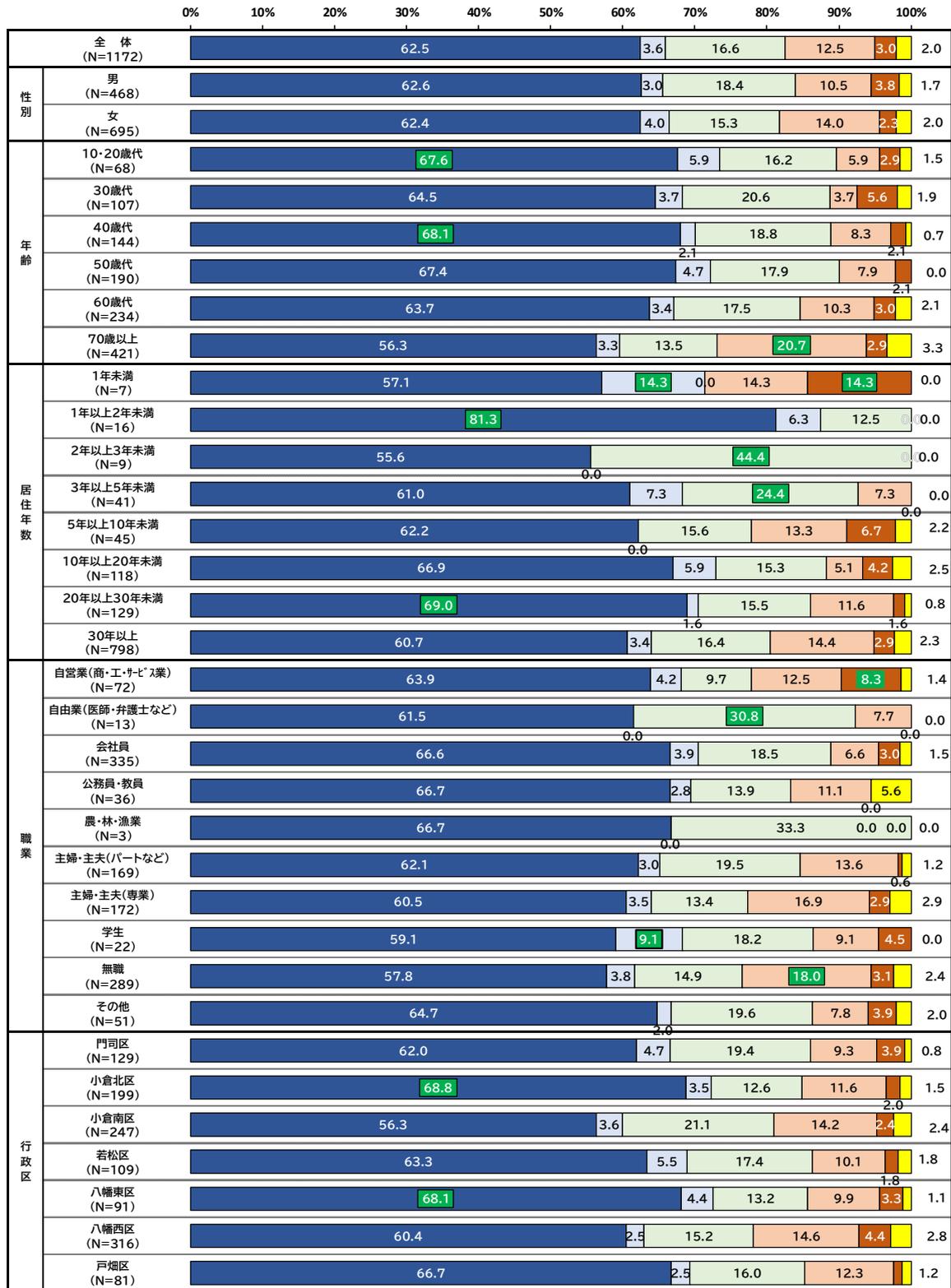
◆ 「自治」を進めるために大切なことは、

1位 市民と市が協力して、まちづくりを進める	62.5%
2位 市民相互の連携・尊重に努める	16.6%
3位 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する	12.5%

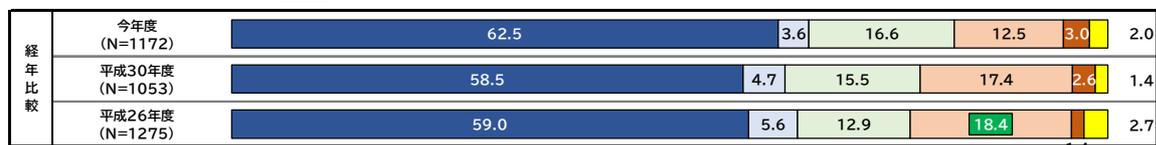


問5 自治を進めるために必要なこと

■ 市民と市が協力して、まちづくりを進める
 □ 市民が主体的にまちづくりに取り組む
 □ 市民相互の連携・尊重に努める
 □ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する
 ■ その他
 ■ 無回答



(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)



自治を進めるために必要なこと

【 全体的傾向 】

「自治」を進めるために大切なことは、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(62.5%)が最も多く、6割強となっている。次いで「市民相互の連携・尊重に努める」(16.6%)、「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(12.5%)の順になっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 10・20 歳代、40 歳代で「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が多くなっている。
- 70 歳以上では「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(56.3%)が少なく、「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(20.7%)が多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 20 年以上 30 年未満で「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(69.0%)が多くなっている。

《職業別にみると》

- 無職では「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.0%)が多くなっている。

《行政区別にみると》

- すべての行政区で「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多いが、その中でも、最も多いのが小倉北区で 68.8%、最も少ないのが小倉南区で 56.3%となっており、その差は 12.5 ポイントとなっている。

【 経年比較 】

「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(平成 26 年度 59.0%→平成 30 年度 58.5%→今年度 62.5%)と「市民相互の連携・尊重に努める」(平成 26 年度 12.9%→平成 30 年度 15.5%→今年度 16.6%)が平成 26 年度に比べて増加し、「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(平成 26 年度 18.4%→平成 30 年度 17.4%→今年度 12.5%)は減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- 積極的に参加したいが、高齢のため体がついていかない。若い方に頑張って頂きたいが、若い方が少ないので難しいような気がします。
- 人間関係を作る。役所と自治会、町内会。
- 4 が本来の姿だと思うが今は難しいと思うので、自治会などが SNS での発信をしてみてもどうか。町内会など参加がいやな若い人でも、自分の住む町内会のフォローはすると思う。子どもで

もいれば必ずすると思う。

- 年代別に自治に対する意識の差が大きい。高齢者の意識が高く若者の意識は低い。自治に関心を持ってもらうための行政支援が不可欠と考える。現状は高齢者のための自治であり、若者は自治に参加しないまま転出してしまふ。
- 若者が参加したいと思うことが大切。
- 若者の意見を聞く。
- ちょっとした気づきを発信する情報を集める事。
- 市が主体となり市民の不満を解決する。
- 各市民が相互に協力することが必要である事を、各自(各家庭)が自覚する事が大事と思います。そのことをもっと広めてほしい。マナーの悪い人が目につきます。
- 市民と行政だけではなく、地域企業にも協力をしてもらふ。
- ④は市民への負担が多すぎ、高齢者や若い世代は入会しない。
- 行政担当者が地域のことを知る。
- 市民が何を協力したらよいかを認知させる。
- 私は若いので大好きな北九州市のために動いています。シビックプライドを上げるように教育分野などで小さい頃から町おこしに参画できるようにすべきだと思う。

(4) 市が発信する情報の入手先

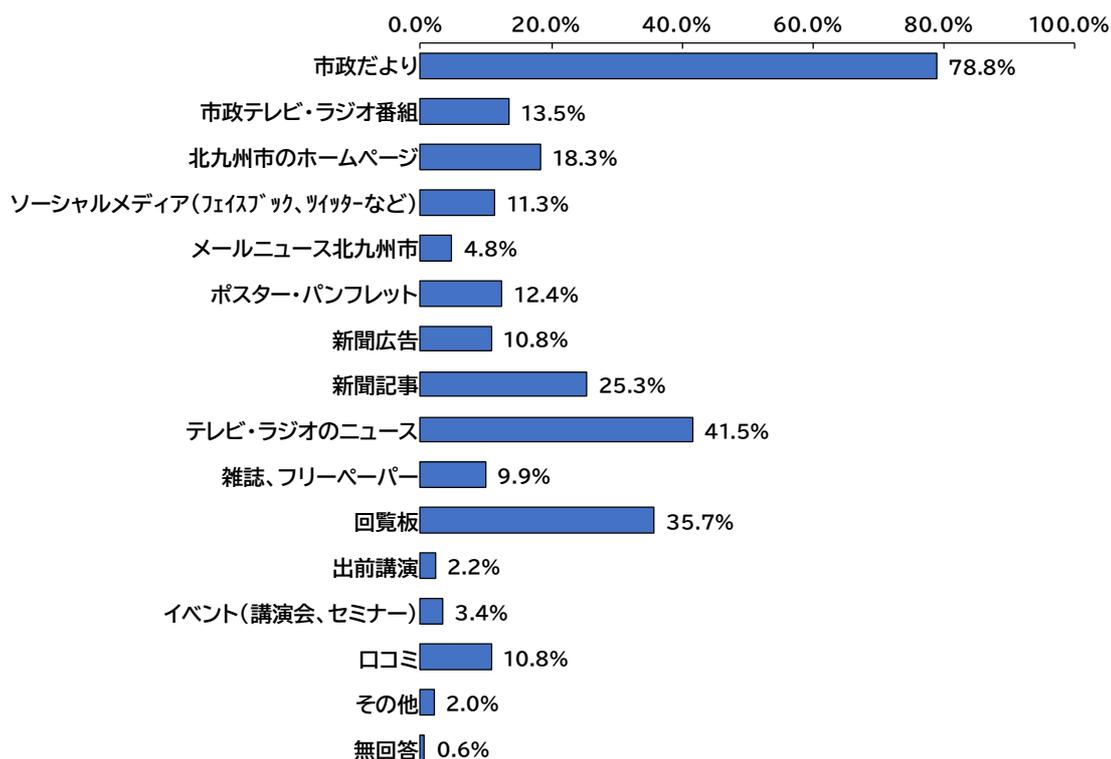
問6 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を普段どこから入手していますか。よく見て(聞いて)いるものを次の中からいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 市政だより	923	78.8%
2 市政テレビ・ラジオ番組	158	13.5%
3 北九州市のホームページ	214	18.3%
4 ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)	133	11.3%
5 メールニュース北九州市	56	4.8%
6 ポスター・パンフレット	145	12.4%
7 新聞広告	127	10.8%
8 新聞記事	297	25.3%
9 テレビ・ラジオのニュース	486	41.5%
10 雑誌、フリーペーパー	116	9.9%
11 回覧板	418	35.7%
12 出前講演	26	2.2%
13 イベント(講演会、セミナー)	40	3.4%
14 口コミ	127	10.8%
15 その他	23	2.0%
無回答	7	0.6%

◆ 市民の満足度は、

1位 市政だより	78.8%
2位 市政テレビ・ラジオ番組	13.5%
3位 北九州市のホームページ	18.3%



問6 市が発信する情報の入手先

(単位:%)

	サンプル数	市政だより	市政テレビ・ラジオ番組	北九州市のホームページ	ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)	メールニュース北九州市	ポスター・パンフレット	新聞広告	新聞記事	テレビ・ラジオのニュース	雑誌、フリーペーパー	回覧板	出前講演	イベント(講演会、セミナー)	口コミ	その他	無回答	
全 体	1172	78.8	13.5	18.3	11.3	4.8	12.4	10.8	25.3	41.5	9.9	35.7	2.2	3.4	10.8	2.0	0.6	
性別	男	468	76.5	13.2	21.4	12.0	5.3	12.4	12.0	28.6	6.4	35.7	0.6	2.1	9.8	2.6	0.6	
	女	695	80.3	13.7	16.3	10.9	4.5	12.5	9.9	23.5	12.2	35.8	3.3	4.3	11.5	1.4	0.6	
年齢	10・20歳代	68	51.5	8.8	23.5	30.9	0.0	19.1	2.9	11.8	41.2	11.8	13.2	0.0	1.5	14.7	2.9	1.5
	30歳代	107	60.7	7.5	26.2	27.1	3.7	11.2	3.7	3.7	27.1	15.0	15.0	0.9	1.9	12.1	2.8	0.9
	40歳代	144	70.8	9.0	27.8	17.4	8.3	11.1	6.3	13.2	35.4	18.1	23.6	2.1	2.1	9.7	2.1	0.0
	50歳代	190	80.5	10.0	26.3	16.3	3.2	16.3	8.4	21.1	38.4	14.2	33.7	0.0	5.3	8.4	2.6	0.0
	60歳代	234	84.2	10.3	17.9	7.7	5.6	11.5	12.0	28.6	47.0	9.8	35.5	0.4	1.7	6.0	1.7	0.4
	70歳以上	421	86.5	20.7	9.0	1.9	5.0	10.9	15.7	37.8	45.8	3.6	49.9	5.0	4.8	14.0	1.2	1.0
居住年数	1年未満	7	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	1年以上2年未満	16	50.0	12.5	31.3	12.5	12.5	43.8	6.3	6.3	18.8	18.8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	2年以上3年未満	9	44.4	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0
	3年以上5年未満	41	53.7	4.9	31.7	24.4	12.2	19.5	2.4	7.3	34.1	17.1	17.1	0.0	4.9	9.8	0.0	2.4
	5年以上10年未満	45	55.6	4.4	31.1	20.0	2.2	8.9	13.3	13.3	35.6	20.0	24.4	0.0	2.2	8.9	0.0	2.2
	10年以上20年未満	118	72.0	10.2	24.6	11.0	4.2	11.9	8.5	16.1	39.0	13.6	25.4	1.7	5.1	11.0	3.4	1.7
	20年以上30年未満	129	72.9	9.3	17.1	17.8	5.4	9.3	7.0	18.6	38.8	11.6	31.0	1.6	0.8	7.8	3.1	0.0
	30年以上	798	84.6	15.9	15.9	9.4	4.4	12.2	12.3	30.5	43.7	7.9	41.0	2.6	3.8	11.3	1.6	0.4
職業	自営業(商・工・サビノ業)	72	69.4	5.6	18.1	8.3	5.6	6.9	12.5	12.5	29.2	11.1	33.3	0.0	1.4	12.5	4.2	1.4
	自営業(医師・弁護士など)	13	76.9	15.4	53.8	23.1	0.0	0.0	7.7	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
	会社員	335	70.4	9.3	25.7	20.0	4.8	11.9	8.1	17.3	39.1	11.6	26.9	0.9	1.8	11.3	1.2	0.9
	公務員・教員	36	75.0	13.9	30.6	25.0	2.8	30.6	11.1	27.8	38.9	11.1	25.0	2.8	2.8	11.1	8.3	0.0
	農・林・漁業	3	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	79.9	8.9	14.8	11.8	6.5	11.8	9.5	21.3	39.6	14.2	34.9	0.0	4.1	10.1	3.0	0.0
	主婦・主夫(専業)	172	85.5	16.9	12.2	4.7	4.1	14.5	12.2	32.6	44.8	10.5	47.7	4.7	5.8	8.7	0.6	0.6
	学生	22	63.6	4.5	31.8	27.3	0.0	22.7	4.5	18.2	40.9	18.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	289	87.2	20.4	12.8	3.1	4.2	10.0	14.5	37.7	48.4	4.2	43.6	4.2	4.8	11.1	1.4	0.7
	その他	51	78.4	19.6	11.8	5.9	7.8	17.6	5.9	21.6	41.2	9.8	31.4	3.9	2.0	17.6	3.9	0.0
行政区	門司区	129	79.8	12.4	18.6	9.3	2.3	14.0	17.8	25.6	45.0	5.4	41.1	3.1	5.4	14.7	1.6	0.8
	小倉北区	199	74.9	14.1	21.6	13.1	6.0	11.6	9.0	21.1	40.2	15.6	28.1	1.0	4.5	8.5	3.0	0.5
	小倉南区	247	76.9	12.6	20.6	12.6	6.1	12.6	11.3	23.9	39.3	15.0	34.8	0.4	2.4	10.1	2.4	0.4
	若松区	109	82.6	16.5	22.9	11.0	3.7	14.7	10.1	27.5	34.9	3.7	47.7	2.8	0.9	7.3	1.8	0.9
	八幡東区	91	79.1	17.6	12.1	14.3	4.4	9.9	12.1	27.5	41.8	5.5	31.9	5.5	3.3	11.0	1.1	0.0
	八幡西区	316	78.2	12.7	13.3	10.8	4.7	13.0	9.5	28.8	45.6	8.5	37.7	2.8	4.1	13.0	1.9	0.9
	戸畑区	81	88.9	11.1	22.2	6.2	3.7	8.6	7.4	21.0	38.3	6.2	28.4	2.5	1.2	8.6	0.0	0.0

■ 経年比較

年度	令和5年度	1172	78.8	13.5	18.3	11.3	4.8	12.4	10.8	25.3	41.5	9.9	35.7	2.2	3.4	10.8	2.0	0.6
	平成30年度	1053	84.5	16.8	13.2	3.8	2.3	16.1	11.1	31.4	37.5	10.9	43.4	2.9	4.8	9.1	1.6	1.1
	平成26年度	1275	86.8	19.1	14.3	1.6	1.0	15.7	14.8	36.7	36.9	10.0	44.2	3.0	4.0	10.9	1.3	1.1

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市が発信する情報の入手先

【 全体的傾向 】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報媒体で、よく見て(聞いて)いるものは、「市政だより」(78.8%)が最も多く、8割弱となっている。次いで「テレビ・ラジオのニュース」(41.5%)、「回覧板」(35.7%)、「新聞記事」(25.3%)の順となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 年齢が高いほど多くなる傾向ものは、「市政だより」、「回覧板」、「新聞記事」、「市政テレビ・ラジオ番組」、「新聞広告」である。
- 50歳代以下に多いものは「北九州市のホームページ」、30歳代以下では「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」などある。
- 全年齢層で受け入れられているのは「テレビ・ラジオのニュース」となっている。

《居住年数別にみると》

- 居住年数の長いほど多くなる傾向ものは、「市政だより」、「回覧板」、「新聞記事」である。
- 3年以上20年未満では「北九州市のホームページ」も多くなっている。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(専業)や無職では「市政だより」や「回覧板」が多く、「北九州市のホームページ」や「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」は少ないが、会社員、公務員・教員では「市政だより」や「回覧板」は少なく、「北九州市のホームページ」や「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」が多くなっている。

《行政区別にみると》

- 戸畑区で「市政だより」が88.9%と特に多く、若松区、門司区では「回覧板」が4割台と多くなっている。

【 経年比較 】

「市政だより」(平成26年度 86.8%→平成30年度 84.5%→今年度 78.8%)、「回覧板」(平成26年度 44.2%→平成30年度 43.4%→今年度 35.7%)、「新聞記事」(平成26年度 36.7%→平成30年度 31.4%→今年度 25.3%)、「市政テレビ・ラジオ番組」(平成26年度 19.1%→平成30年度 16.8%→今年度 13.5%)は減少している。逆に、「テレビ・ラジオのニュース」(平成26年度 36.9%→平成30年度 37.5%→今年度 41.5%)は平成26年度に比べて増加している。

また、インターネットの普及等により「北九州市のホームページ」(平成26年度 14.3%→平成30年度 13.2%→今年度 18.3%)や「ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)」(平成26年度 1.6%→平成30年度 3.8%→今年度 11.3%)は増加しているが、まだ1割台にとどまっている。

【 自由記述の回答状況 】

- ・ 自由記述欄には以下のような意見や感想があった。
- ・ 学校からの手紙
- ・ スマホニュース
- ・ 区役所に行った時
- ・ 市民センターだより
- ・ 自宅の店での話でいろんな情報を知る
- ・ 市長の Twitter
- ・ 知人、友人からの情報。
- ・ 近所の人からの知らせ

(5) 発信する情報のうち、興味のあるもの

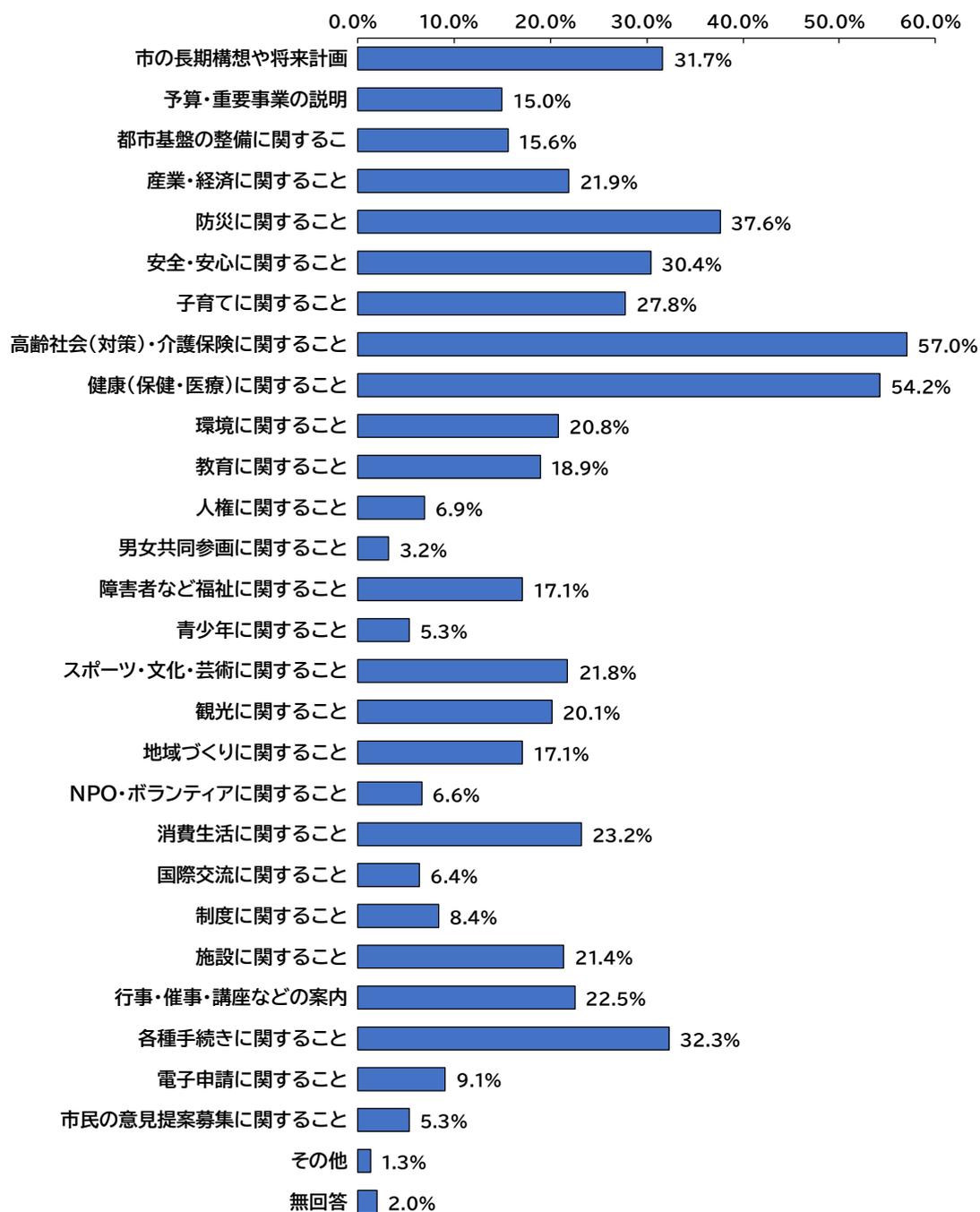
問7 北九州市が発信する情報の中で、あなたにとって興味のある事項は何ですか。次の中からいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項 目	回答数	割合
1 市の長期構想や将来計画	371	31.7%
2 予算・重要事業の説明	176	15.0%
3 都市基盤の整備に関するこ	183	15.6%
4 産業・経済に関するこ	257	21.9%
5 防災に関するこ	441	37.6%
6 安全・安心に関するこ	356	30.4%
7 子育てに関するこ	326	27.8%
8 高齢社会(対策)・介護保険に関するこ	668	57.0%
9 健康(保健・医療)に関するこ	635	54.2%
10 環境に関するこ	244	20.8%
11 教育に関するこ	221	18.9%
12 人権に関するこ	81	6.9%
13 男女共同参画に関するこ	38	3.2%
14 障害者など福祉に関するこ	200	17.1%
15 青少年に関するこ	62	5.3%
16 スポーツ・文化・芸術に関するこ	255	21.8%
17 観光に関するこ	235	20.1%
18 地域づくりに関するこ	200	17.1%
19 NPO・ボランティアに関するこ	77	6.6%
20 消費生活に関するこ	272	23.2%
21 国際交流に関するこ	75	6.4%
22 制度に関するこ	98	8.4%
23 施設に関するこ	251	21.4%
24 行事・催事・講座などの案内	264	22.5%
25 各種手続きに関するこ	379	32.3%
26 電子申請に関するこ	107	9.1%
27 市民の意見提案募集に関するこ	62	5.3%
28 その他	15	1.3%
無回答	23	2.0%

◆ 北九州市が発信する情報の中で興味のある事項は、

1位 高齢社会(対策)・介護保険に関するこ	57.0%
2位 健康(保健・医療)に関するこ	54.2%
3位 防災に関するこ	37.6%



問7 発信する情報のうち、興味のあるもの(1)

(単位:%)

		サンプル数	市の長期構想や将来計画	予算・重要事業の説明	都市基盤の整備に関するこ	産業・経済に関すること	防災に関すること	安全・安心に関すること	子育てに関すること	高齢社会(対策)・介護保険に関すること	健康(保健・医療)に関すること	環境に関すること	教育に関すること	人権に関すること	男女共同参画に関すること	障害者など福祉に関すること	青少年に関すること
全 体		1172	31.7	15.0	15.6	21.9	37.6	30.4	27.8	57.0	54.2	20.8	18.9	6.9	3.2	17.1	5.3
性別	男	468	41.0	19.7	22.2	32.5	36.3	30.6	28.8	55.8	49.1	19.7	17.3	6.0	2.1	16.9	5.8
	女	695	25.3	11.9	11.2	14.5	38.4	30.4	26.9	57.8	57.4	21.7	20.0	7.2	4.0	17.1	4.7
年齢	10・20歳代	68	26.5	22.1	14.7	22.1	22.1	30.9	38.2	19.1	35.3	17.6	32.4	7.4	4.4	16.2	8.8
	30歳代	107	28.0	16.8	12.1	23.4	18.7	22.4	70.1	18.7	34.6	9.3	40.2	0.9	2.8	9.3	3.7
	40歳代	144	29.2	15.3	18.8	27.8	30.6	36.8	48.6	32.6	41.7	20.8	34.0	4.9	2.8	16.7	3.5
	50歳代	190	33.7	15.8	21.1	26.8	39.5	32.6	21.6	50.5	53.7	22.1	14.7	6.3	4.2	14.2	2.6
	60歳代	234	31.6	16.2	17.9	23.5	44.9	32.1	21.8	71.4	60.7	26.9	16.2	8.5	1.7	17.9	4.7
	70歳以上	421	33.3	12.4	11.9	15.9	42.3	28.3	14.0	76.2	62.7	20.4	9.5	7.8	3.8	20.0	6.9
居住年数	1年未満	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	28.6	42.9	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	1年以上2年未満	16	12.5	6.3	0.0	12.5	31.3	25.0	37.5	31.3	56.3	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3
	2年以上3年未満	9	33.3	11.1	11.1	22.2	22.2	22.2	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	41	29.3	19.5	24.4	17.1	36.6	29.3	48.8	24.4	36.6	14.6	34.1	4.9	4.9	7.3	2.4
	5年以上10年未満	45	17.8	11.1	8.9	28.9	28.9	22.2	53.3	31.1	37.8	20.0	46.7	6.7	4.4	20.0	6.7
	10年以上20年未満	118	25.4	14.4	11.9	23.7	33.1	32.2	34.7	42.4	47.5	19.5	27.1	4.2	4.2	18.6	4.2
	20年以上30年未満	129	31.0	20.9	19.4	24.8	28.7	24.8	33.3	38.8	46.5	20.9	20.2	5.4	1.6	16.3	4.7
	30年以上	798	34.1	14.5	15.9	21.2	40.7	31.6	22.8	66.4	58.5	21.4	15.4	7.6	3.3	17.8	5.5
職業	自営業(商・工・サービス業)	72	37.5	22.2	16.7	34.7	26.4	23.6	25.0	44.4	44.4	16.7	15.3	2.8	2.8	16.7	5.6
	自由業(医師・弁護士など)	13	46.2	23.1	15.4	38.5	30.8	30.8	53.8	30.8	69.2	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	335	35.8	17.9	20.3	29.9	30.1	31.9	38.2	43.0	44.2	22.1	20.9	5.4	3.6	13.7	3.6
	公務員・教員	36	38.9	19.4	22.2	27.8	19.4	27.8	47.2	47.2	52.8	11.1	47.2	16.7	8.3	11.1	5.6
	農・林・漁業	3	100.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	29.6	12.4	8.3	16.6	36.1	24.3	31.4	55.0	56.2	17.2	21.9	5.9	3.0	15.4	3.6
	主婦・主夫(専業)	172	25.0	11.0	11.0	11.0	47.7	39.0	25.6	68.6	63.4	26.7	19.2	7.0	1.7	18.0	5.8
	学生	22	18.2	22.7	9.1	18.2	22.7	31.8	22.7	27.3	22.7	18.2	45.5	9.1	4.5	18.2	9.1
	無職	289	29.8	12.1	14.5	17.6	48.1	28.7	12.8	75.4	65.4	20.4	10.7	7.3	3.1	21.1	6.9
	その他	51	29.4	17.6	25.5	17.6	35.3	35.3	25.5	56.9	43.1	23.5	15.7	13.7	5.9	27.5	7.8
行政区	門司区	129	31.8	18.6	20.2	23.3	42.6	27.1	27.9	59.7	56.6	20.9	20.2	8.5	3.9	17.8	5.4
	小倉北区	199	35.7	15.6	15.1	25.6	37.2	36.2	27.6	54.8	56.3	20.1	17.6	7.5	4.5	17.1	2.5
	小倉南区	247	30.0	14.2	16.2	18.6	39.7	29.6	27.1	58.3	51.4	21.1	18.2	4.5	1.6	16.2	5.3
	若松区	109	33.0	14.7	14.7	21.1	35.8	32.1	23.9	67.0	56.0	31.2	18.3	11.0	2.8	18.3	4.6
	八幡東区	91	30.8	11.0	13.2	20.9	42.9	23.1	29.7	54.9	52.7	25.3	25.3	5.5	6.6	16.5	11.0
	八幡西区	316	29.7	16.8	15.8	23.1	33.9	32.0	28.2	54.7	54.7	16.8	18.7	7.6	2.8	18.0	5.7
	戸畑区	81	33.3	8.6	11.1	18.5	35.8	23.5	32.1	51.9	50.6	18.5	16.0	3.7	2.5	13.6	4.9

■ 経年比較

年度	サンプル数	市の長期構想や将来計画	予算・重要事業の説明	都市基盤の整備に関するこ	産業・経済に関すること	防災に関すること	安全・安心に関すること	子育てに関すること	高齢社会(対策)・介護保険に関すること	健康(保健・医療)に関すること	環境に関すること	教育に関すること	人権に関すること	男女共同参画に関すること	障害者など福祉に関すること	青少年に関すること
令和5年度	1172	31.7	15.0	15.6	21.9	37.6	30.4	27.8	57.0	54.2	20.8	18.9	6.9	3.2	17.1	5.3
平成30年度	1053	24.4	12.7	14.9	16.7	40.6	32.2	28.0	55.6	54.8	21.2	21.7	6.5	3.8	17.9	8.6
平成26年度	1275	25.5	13.2	14.0	16.8	32.9	32.2	29.1	59.8	58.2	23.8	21.1	7.1	3.7	16.2	7.4

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

問7 発信する情報のうち、興味のあるもの(2)

(単位:%)

		サンプル数	とスポーツ・文化・芸術に関すること	観光に関すること	地域づくりに関すること	とNPO・ボランティアに関すること	消費生活に関すること	国際交流に関すること	制度に関すること	施設に関すること	行事・催事・講座などの案内	各種手続きに関すること	電子申請に関すること	市民の意見提案募集に関すること	その他	無回答
全 体		1172	21.8	20.1	17.1	6.6	23.2	6.4	8.4	21.4	22.5	32.3	9.1	5.3	1.3	2.0
性別	男	468	20.5	19.0	21.2	6.6	22.9	4.9	6.4	20.1	18.4	25.6	9.8	5.3	1.9	2.8
	女	695	22.6	20.6	14.2	6.5	23.2	7.5	9.6	22.2	25.0	37.3	8.6	5.2	0.9	1.4
年齢	10・20歳代	68	23.5	32.4	13.2	8.8	17.6	8.8	11.8	16.2	14.7	25.0	17.6	2.9	1.5	1.5
	30歳代	107	21.5	21.5	22.4	0.0	21.5	3.7	9.3	20.6	18.7	23.4	12.1	4.7	3.7	0.9
	40歳代	144	25.7	24.3	14.6	6.3	21.5	9.0	13.2	19.4	24.3	33.3	13.9	5.6	0.7	2.1
	50歳代	190	28.4	23.7	19.5	7.9	17.9	7.9	11.1	18.4	23.2	39.5	8.4	4.7	1.1	2.1
	60歳代	234	25.2	20.1	12.8	8.5	28.2	6.0	7.3	21.4	25.2	36.8	9.8	5.6	0.4	1.7
	70歳以上	421	15.2	14.3	18.3	6.2	24.2	5.5	5.2	24.2	22.1	30.4	5.2	5.7	1.4	2.4
居住年数	1年未満	7	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
	1年以上2年未満	16	31.3	37.5	18.8	6.3	37.5	12.5	0.0	12.5	31.3	43.8	31.3	0.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	9	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	41	26.8	22.0	7.3	2.4	26.8	2.4	14.6	14.6	22.0	26.8	7.3	2.4	0.0	2.4
	5年以上10年未満	45	20.0	24.4	15.6	2.2	20.0	6.7	11.1	13.3	28.9	26.7	17.8	2.2	0.0	2.2
	10年以上20年未満	118	20.3	22.0	14.4	4.2	26.3	8.5	6.8	21.2	19.5	33.9	12.7	5.9	0.0	3.4
	20年以上30年未満	129	29.5	20.9	17.8	9.3	17.8	6.2	7.8	20.9	14.0	34.1	15.5	5.4	1.6	0.8
	30年以上	798	20.3	18.8	18.0	7.0	23.3	6.4	8.4	22.7	23.8	32.8	6.5	5.6	1.5	2.0
職業	自営業(商・サービス業)	72	15.3	23.6	15.3	5.6	25.0	5.6	9.7	9.7	16.7	31.9	11.1	11.1	0.0	5.6
	自営業(医師・弁護士など)	13	30.8	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0
	会社員	335	25.7	24.8	16.1	6.0	17.9	6.6	9.9	19.1	18.5	30.7	12.5	6.0	2.7	3.0
	公務員・教員	36	27.8	25.0	27.8	11.1	25.0	2.8	8.3	16.7	36.1	8.3	8.3	2.8	0.0	0.0
	農・林・漁業	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	24.9	23.1	15.4	6.5	25.4	7.1	9.5	25.4	24.3	41.4	7.1	4.1	0.6	0.0
	主婦・主夫(専業)	172	19.8	16.9	17.4	7.6	26.7	7.0	8.7	23.3	27.9	40.1	7.0	4.1	0.0	1.2
	学生	22	27.3	31.8	13.6	9.1	22.7	18.2	9.1	13.6	9.1	13.6	18.2	4.5	0.0	0.0
	無職	289	14.5	12.1	17.6	5.2	26.3	4.2	5.9	26.0	22.5	29.4	5.9	4.8	1.7	1.7
	その他	51	33.3	21.6	19.6	9.8	17.6	11.8	7.8	17.6	27.5	35.3	9.8	5.9	0.0	2.0
行政区	門司区	129	15.5	27.1	16.3	9.3	21.7	4.7	8.5	22.5	24.0	28.7	5.4	9.3	0.0	1.6
	小倉北区	199	23.6	20.6	12.6	7.0	26.1	9.5	10.1	18.6	18.6	38.7	8.5	7.0	1.0	2.0
	小倉南区	247	21.5	22.3	17.8	4.9	21.5	5.3	7.3	23.9	25.5	35.6	12.1	4.0	2.0	2.8
	若松区	109	15.6	11.9	25.7	11.0	24.8	8.3	9.2	16.5	19.3	32.1	11.0	3.7	0.9	0.0
	八幡東区	91	18.7	18.7	23.1	11.0	26.4	8.8	7.7	19.8	22.0	37.4	8.8	3.3	0.0	0.0
	八幡西区	316	25.9	17.7	16.8	4.4	22.2	5.1	7.9	21.2	23.7	27.5	8.9	4.4	1.3	2.5
	戸畑区	81	23.5	22.2	9.9	3.7	22.2	4.9	8.6	28.4	21.0	25.9	6.2	6.2	3.7	2.5

■ 経年比較

年度	サンプル数	とスポーツ・文化・芸術に関すること	観光に関すること	地域づくりに関すること	とNPO・ボランティアに関すること	消費生活に関すること	国際交流に関すること	制度に関すること	施設に関すること	行事・催事・講座などの案内	各種手続きに関すること	電子申請に関すること	市民の意見提案募集に関すること	その他	無回答
令和5年度	1172	21.8	20.1	17.1	6.6	23.2	6.4	8.4	21.4	22.5	32.3	9.1	5.3	1.3	2.0
平成30年度	1053	22.8	18.0	17.6	5.4	19.0	6.9	7.7	22.1	27.6	29.2	2.8	4.2	0.9	1.4
平成26年度	1275	20.9	15.7	18.3	7.1	23.4	7.0	9.6	23.4	27.5	27.5	1.5	4.4	0.5	2.4

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

発信する情報のうち、興味のあるもの

【 全 体 的 傾 向 】

市が発信する情報の中で、興味のある事項は、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」(57.0%)が最も多く、次いで「健康(保険・医療)に関すること」(54.2%)と続き、これらは5割以上となっている。以下、「防災に関すること」(37.6%)、「各種手続きに関すること」(32.3%)、「市の長期構想や将来計画」(31.7%)、「安全・安心に関すること」(30.4%)と続き、これらは3割以上となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 男性が女性より5ポイント以上高いものは、「産業・経済に関すること」、「市の長期構想や将来計画」、「都市基盤の整備に関すること」、「予算・重要事業の説明」、「地域づくりに関すること」である。
- 女性が男性より5ポイント以上高いものは、「各種手続きに関すること」、「健康(保健・医療)に関すること」、「行事・催事・講座などの案内」である。

《年齢別にみると》

- 年齢が高くなるほど多くなるのは、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」、「健康(保健・医療)に関すること」である。
- 40歳代以下、特に30歳代では、「子育てに関すること」、「教育に関すること」が多い。

《居住年数別にみると》

- 3年以上20年未満では、「子育てに関すること」、「教育に関すること」が多い。
- 30年以上では「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」が多くなっている。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(専業)、無職では「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」、「健康(保健・医療)に関すること」が多くなっている。
- 会社員、公務員・教員では「産業・経済に関すること」、「子育てに関すること」、公務員・教員では「教育に関すること」が他の職業層よりも多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差が大きい上位項目としては、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」(若松区 67.0%－戸畑区 51.9%:15.1ポイント差)、「安全・安心に関すること」(小倉北区 36.2%－八幡東区 23.1%:13.1ポイント差)、「各種手続きに関すること」(小倉北区 38.7%－戸畑区 25.9%:12.8ポイント差)などである。

【 経 年 比 較 】

平成26年度、平成30年度、今年度と大きな変化はみられない。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 道路、交通整備について
- ・ にぎわい商品券のお知らせ
- ・ 事故、犯罪について
- ・ 人口減少、流出の基本プラン
- ・ 車の免許証を返還後のサービス・特典
- ・ 仕事の募集
- ・ ゴミ分別に関する事
- ・ もし行政に専門家がいるなら、その者が毎日市中に出て、市民の生活実態を肌で感じて市政に反映してほしい。
- ・ 具体的なまちづくり情報が乏しい。
- ・ 住民税

(6) 市が発信する情報のわかりやすさ

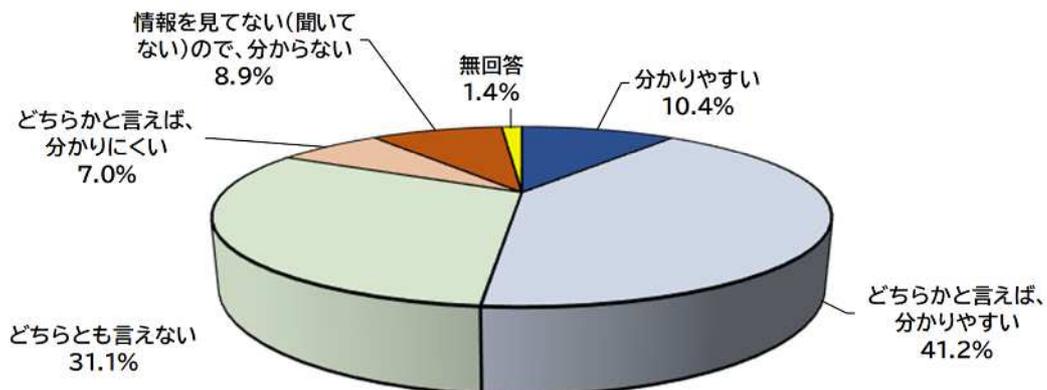
問8 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報(市政だよりやパンフレット、インターネット、広報番組など)について分かりやすいと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

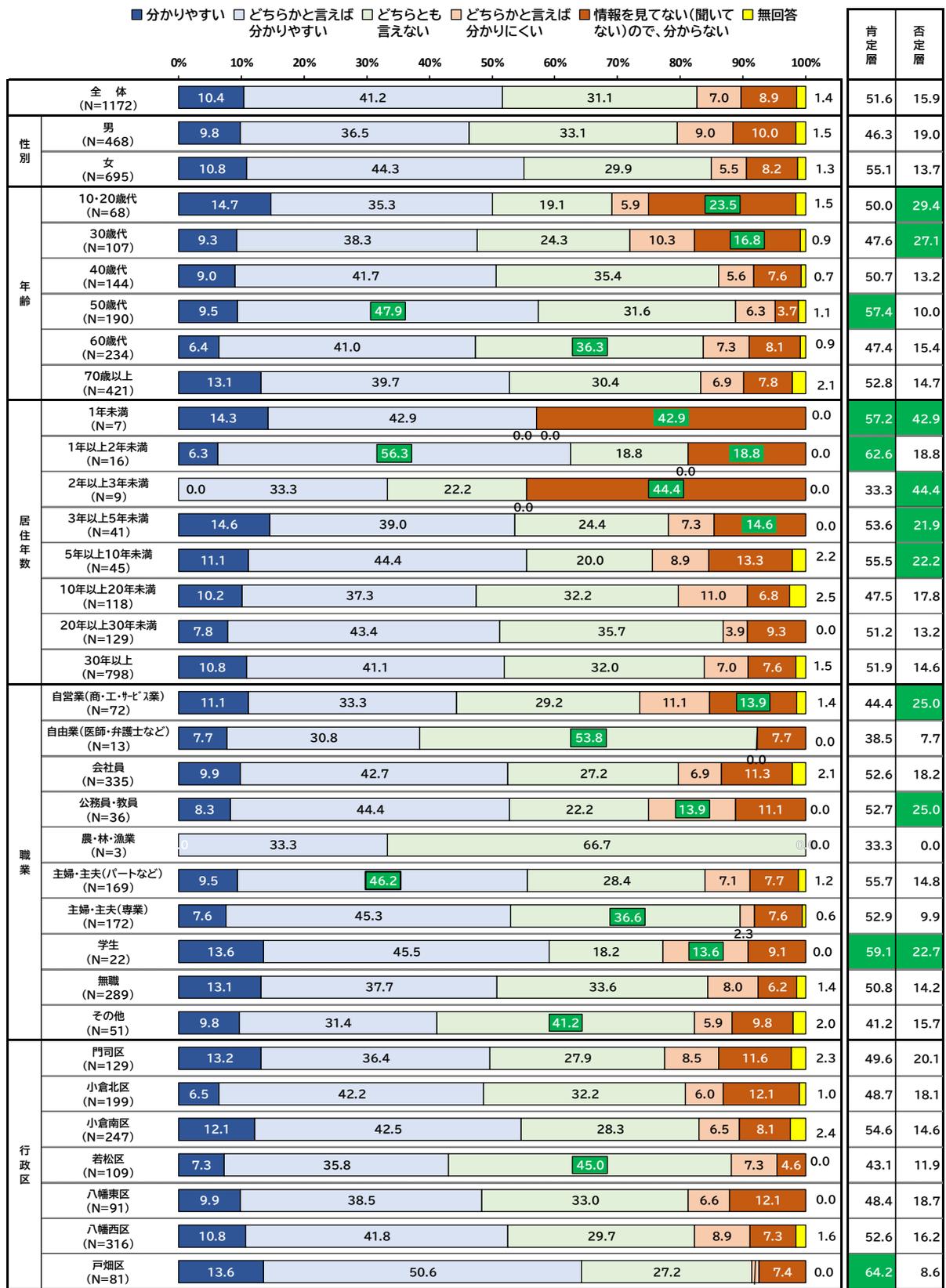
項目	回答数	割合
1 分かりやすい	122	10.4%
2 どちらかと言えば、分かりやすい	483	41.2%
3 どちらとも言えない	365	31.1%
4 どちらかと言えば、分かりにくい	82	7.0%
5 情報を見てない(聞いてない)ので、分からない	104	8.9%
無回答	16	1.4%

◆ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報のわかりやすさは、

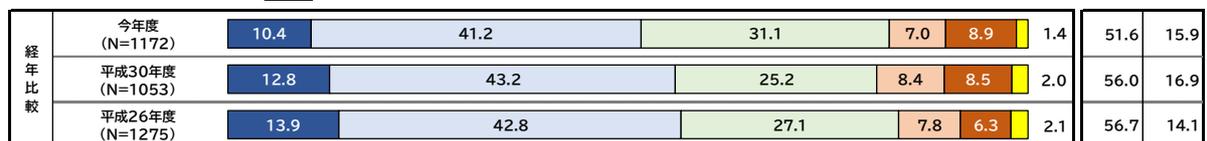
・ 肯定層 =====⇒	51.6%
「分かりやすい」 + 「どちらかと言えば分かりやすい」	(10.4%) + (41.2%)
・ 否定層 =====⇒	15.9%
「どちらかと言えば、分かりにくい」 + 「情報を見てない(聞いてない)ので、分からない」	(7%) + (8.9%)



問8 市が発信する情報のわかりやすさ



(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)



市が発信する情報のわかりやすさ

【全体的傾向】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、「どちらかと言えば、分かりやすい」(41.2%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(31.1%)、「分かりやすい」(10.4%)の順になっている。

「分かりやすい」と「どちらかと言えば、分かりやすい」を合わせた『肯定層(分かりやすい)』は 51.6%で、5割強となった一方、「どちらかと言えば分かりにくい」(7.0%)と「情報を見てない(聞いてない)ので、分からない」(8.9%)を合わせた『否定層』は 15.9%となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では『肯定層』は 46.3%であるが、女性では 55.1%と、男性より 8.8 ポイント多い。

《年齢別にみると》

- 50 歳代で『肯定層』が 57.4%と最も多く、60 歳代で 47.4%と最も少ない。
- 30 歳代以下では『否定層』が 3 割弱と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 5 年以上 10 年未満で『否定層』が 2 割と多くなっている。

《職業別にみると》

- その他で『肯定層』が 41.2%となっている。

《行政区別にみると》

- 戸畑区で『肯定層』が 64.2%と最も多く、若松区で 43.1%と最も少なくなっており、その差は 21.1 ポイントと大きい。

【経年比較】

『肯定層』は、平成 26 年度の 56.7%から平成 30 年度は 56.0%に減少し、今年度は 51.6%に微増したものの、平成 26 年度と比べると 5.1 ポイント減少している。

(7) 市が発信する情報の量

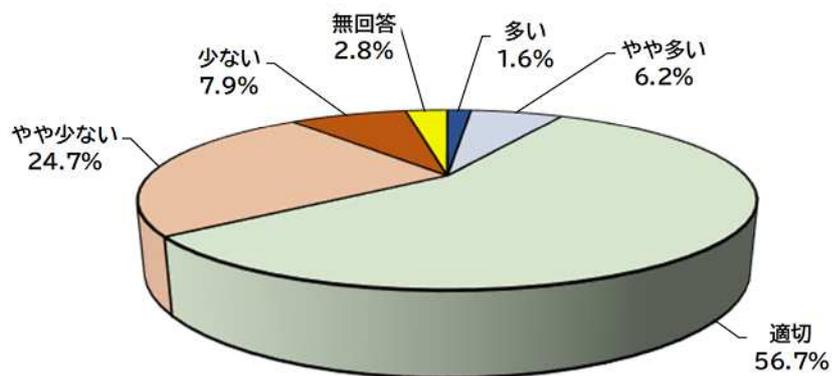
問9 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

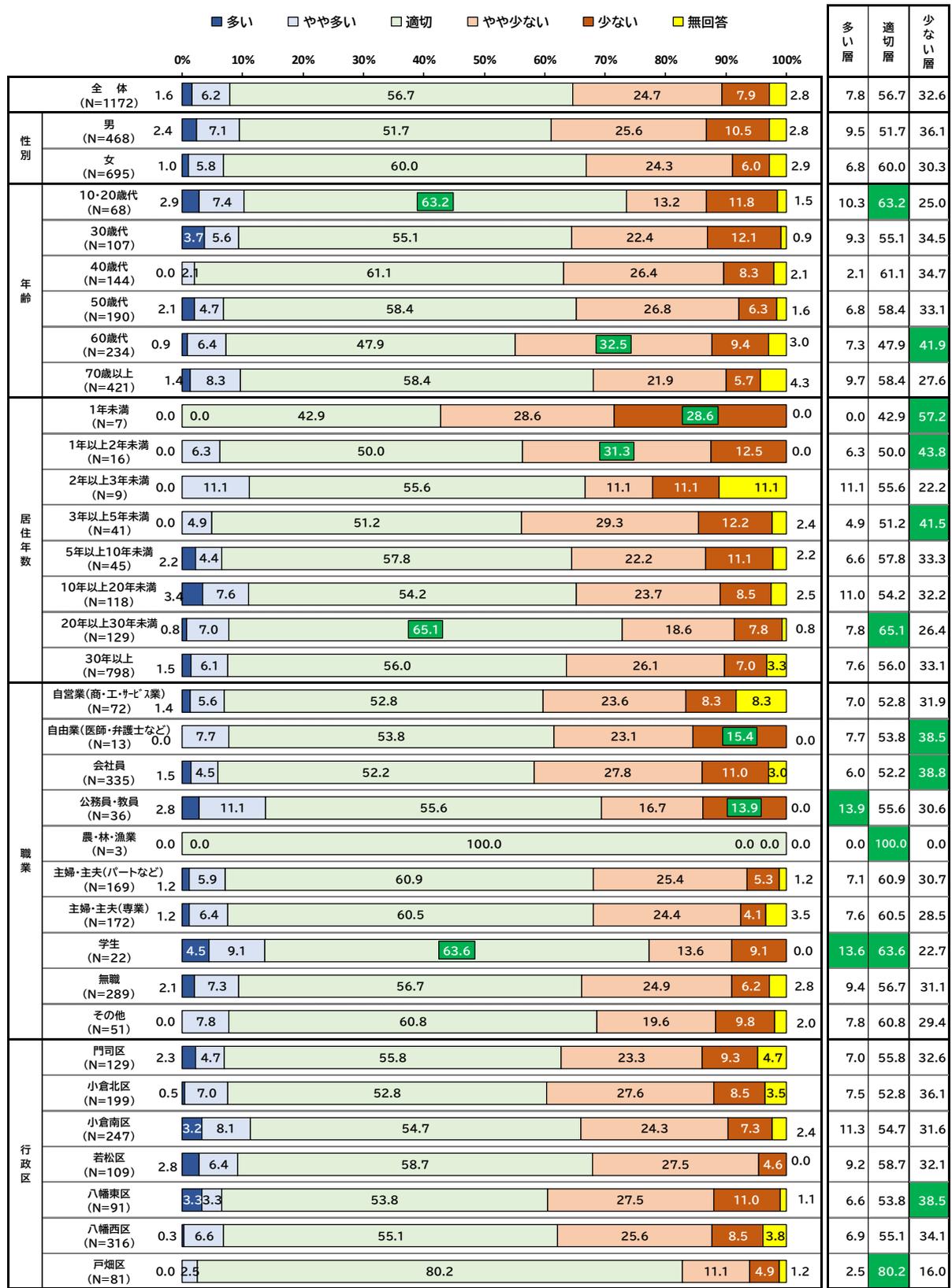
項 目	回答数	割合
1 多い	19	1.6%
2 やや多い	73	6.2%
3 適切	664	56.7%
4 やや少ない	290	24.7%
5 少ない	93	7.9%
無回答	33	2.8%

◆ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、

・ 多 い 層 ----->	7.8%
「多 い」+「や や 多 い」	(1.6%) + (6.2%)
・ 適 切 層 ----->	56.7%
・ 少 な い 層 ----->	32.6%
「や や 少 な い」+「少 な い」	(24.7%) + (7.9%)



問9 市が発信する情報の量



(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

経年比較	属性名	多い	やや多い	適切	やや少ない	少ない	無回答	多い層	適切層	少ない層
経年比較	今年度 (N=1172)	1.6	6.2	56.7	24.7	7.9	2.8	7.8	56.7	32.6
	平成30年度 (N=1053)	1.7	5.5	58.0	24.5	7.4	2.8	7.2	58.0	31.9
	平成26年度 (N=1275)	2.4	7.1	55.6	25.0	6.4	3.6	9.5	55.6	31.4

市が発信する情報の量

【全体的傾向】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、「適切」(56.7%)が最も多く、次いで「やや少ない」(24.7%)、「少ない」(7.9%)の順になっている。

「多い」(1.6%)と「やや多い」(6.2%)を合わせた『多い層』は 7.8%で1割に届かなかった一方、「やや少ない」と「少ない」を合わせた『少ない層』は 32.6%で3割強となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 『適切層』は、男性では 51.7%、女性では 60.0%と女が 8.3 ポイント多く、『少ない層』は、男性では 36.1%、女性では 30.3%となっており、男性が 5.8 ポイント多い。

《年齢別にみると》

- 10・20 歳代で『多い層』(10.3%)、『適切』(63.2%)、60 歳代で『少ない層』(41.9%)が最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10 年以上 20 年未満で『多い層』(11.0%)、20 年以上 30 年未満で『適切』(65.1%)、3 年以上 5 年未満で『少ない層』(41.5%)が最も多くなっている。

《職業別にみると》

- 公務員・教員で『多い層』(13.9%)、その他で『適切』(60.8%)、無職で『少ない層』(31.1%)が最も多くなっている。

《行政区別にみると》

- 小倉南区で『多い層』(11.3%)、戸畑区で『適切』(80.2%)、八幡東区で『少ない層』(38.5%)が最も多くなっている。

【経年比較】

平成 26 年度、平成 30 年度、今年度と大きな変化はみられず、いずれの年度も「適切」が半数を超え、最も多くなっている。

(8) 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

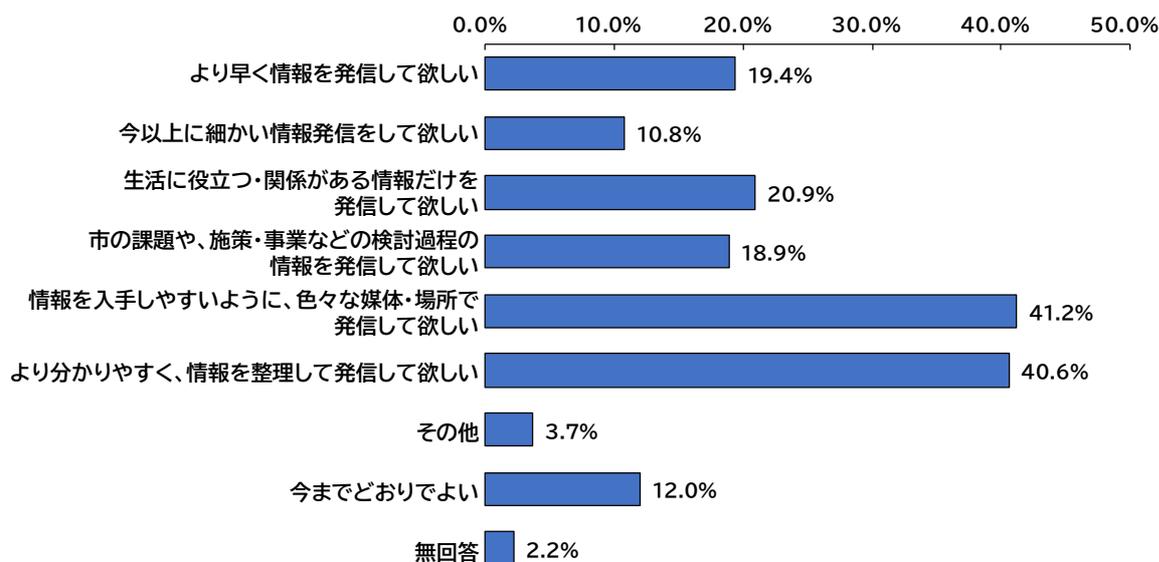
問10 あなたは、北九州市からの情報発信の方法について、どのような改善が必要だと思いますか。改善が必要と思われるものを次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 より早く情報を発信して欲しい	227	19.4%
2 今以上に細かい情報発信をして欲しい	127	10.8%
3 生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	245	20.9%
4 市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい	222	18.9%
5 情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	483	41.2%
6 より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	476	40.6%
7 その他	43	3.7%
8 今までどおりでよい	141	12.0%
無回答	26	2.2%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	41.2%
2位 より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	40.6%
3位 生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	20.9%



問 10 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

(単位:%)

	サンプル数	より早く情報を発信して欲しい	今以上に細かい情報発信をして欲しい	生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい	情報入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	その他	今までどおりでよい	無回答	
全 体	1172	19.4	10.8	20.9	18.9	41.2	40.6	3.7	12.0	2.2	
性別	男	468	19.9	12.4	22.0	22.6	44.2	36.3	4.5	10.3	2.1
	女	695	19.1	9.8	20.3	16.1	39.1	43.6	3.2	13.4	2.3
年齢	10・20歳代	68	13.2	7.4	20.6	19.1	42.6	23.5	2.9	19.1	1.5
	30歳代	107	18.7	13.1	16.8	11.2	49.5	33.6	9.3	15.9	0.0
	40歳代	144	16.7	9.7	20.8	24.3	44.4	36.8	4.2	11.1	1.4
	50歳代	190	20.5	11.6	16.3	21.1	47.9	37.4	3.7	7.9	2.1
	60歳代	234	23.9	9.4	18.4	17.1	45.7	47.4	2.6	6.8	3.0
	70歳以上	421	18.5	11.6	25.7	18.5	32.3	44.2	2.9	15.2	2.9
居住年数	1年未満	7	14.3	0.0	14.3	28.6	85.7	14.3	0.0	28.6	0.0
	1年以上2年未満	16	37.5	6.3	25.0	6.3	37.5	31.3	0.0	6.3	0.0
	2年以上3年未満	9	22.2	0.0	22.2	11.1	44.4	33.3	0.0	11.1	0.0
	3年以上5年未満	41	9.8	4.9	19.5	29.3	48.8	36.6	9.8	17.1	0.0
	5年以上10年未満	45	4.4	20.0	17.8	8.9	44.4	33.3	4.4	26.7	2.2
	10年以上20年未満	118	14.4	12.7	23.7	16.1	32.2	38.1	3.4	16.9	3.4
	20年以上30年未満	129	18.6	9.3	26.4	20.9	46.5	33.3	4.7	9.3	0.8
	30年以上	798	21.3	10.9	19.9	19.0	40.9	43.4	3.4	10.8	2.4
職業	・サービス業	72	11.1	11.1	27.8	18.1	50.0	37.5	5.6	8.3	2.8
	・職士など	13	23.1	7.7	0.0	46.2	46.2	38.5	0.0	7.7	0.0
	会社員	335	22.1	10.1	16.1	21.2	49.3	36.7	4.5	8.1	3.0
	公務員・教員	36	11.1	11.1	11.1	19.4	58.3	30.6	5.6	16.7	0.0
	農・林・漁業	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	169	26.6	10.1	24.9	14.2	39.1	40.2	2.4	11.2	0.6
	主婦・主夫(専業)	172	17.4	9.3	20.3	15.1	36.0	45.3	3.5	16.3	2.9
	学生	22	9.1	9.1	22.7	31.8	36.4	13.6	4.5	22.7	0.0
	無職	289	17.3	13.5	23.2	19.0	32.2	46.7	3.1	15.6	2.1
	その他	51	17.6	7.8	31.4	15.7	43.1	39.2	3.9	5.9	3.9
行政区	門司区	129	17.8	13.2	12.4	19.4	37.2	47.3	5.4	11.6	3.9
	小倉北区	199	21.1	15.1	14.6	20.6	44.2	42.2	4.5	9.0	2.5
	小倉南区	247	17.0	9.7	26.7	20.2	41.7	38.9	4.9	10.5	2.8
	若松区	109	21.1	8.3	22.9	19.3	42.2	48.6	2.8	9.2	0.0
	八幡東区	91	19.8	6.6	23.1	28.6	35.2	38.5	1.1	16.5	1.1
	八幡西区	316	19.3	10.4	21.2	14.6	40.2	39.2	3.5	14.6	2.2
	戸畑区	81	22.2	9.9	25.9	16.0	48.1	28.4	0.0	13.6	1.2

■ 経年比較

年度	サンプル数	より早く情報を発信して欲しい	今以上に細かい情報発信をして欲しい	生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい	情報入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	その他	今までどおりでよい	無回答
令和5年度	1172	19.4	10.8	20.9	18.9	41.2	40.6	3.7	12.0	2.2
平成30年度	1053	19.0	12.0	20.6	16.0	42.0	42.8	2.4	10.4	1.5
平成26年度	1275	19.2	15.3	20.4	17.3	36.5	42.6	2.9	8.5	2.4

(注) **太字** 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

【 全体的傾向 】

市の情報発信の方法について改善が必要と思うことは、「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(41.2%)が最も多く、次いで、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(40.6%)「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.9%)と続いている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 差の大きい項目としては、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」が(男性 36.3%－女性 43.6%:7.3 ポイント差)、「市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい」(男性 22.6%、女性 16.1%:6.5 ポイント差)、「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(男性 44.2%、女性 39.1%:5.1 ポイント差)となっている。

《年齢別にみると》

- 明確な傾向とまではいえないが、年齢の高い層では、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」、年齢の低い層では「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」を重視しているようだ。

《居住年数別にみると》

- 差はみられるが、傾向として特に指摘するような点はみられない。

《職業別にみると》

- 会社員、公務員・教員は「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」、主婦・主夫(パート・専業)、その他では「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」が多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(若松区 48.6%、戸畑区 28.4%:20.2 ポイント差)、「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」が(戸畑区 48.1%、八幡東区 35.2%:12.9 ポイント差)である。

【 経年比較 】

平成 26 年度、平成 30 年度、今年度と大きな変化はみられず、いずれの年度とも「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」と「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」が多くなっている。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- 市長の定例会見をもっと長く聞きたい。
- 市政だよりは月 1 回でよいと思います。

- もっと若者が見たいと思える(興味が持てる)案内の仕方をしてほしい。
- ホームページの作りをもっと手を入れて、使いやすくしてほしい。わかりやすく。
- ホームページを充実してほしい。文章、PDFが多く、視覚的、直感的に見にくい。
- 市報などにイベント情報など載せてほしい。ネットなど様々な情報があって、どこを見たらよいかわからない。
- 市政だよりの月2回は必要でないと思う。ペーパーレス。
- 小学生でもわかりやすい言葉を使って発信してほしい。
- 福岡市のように、電子申請や変更点を自動音声やAIボットでLINEアカウントを活用するとか。
- 全国的に知名度が高い人にボランティアでテレビ、ラジオで情報発信する。
- 高齢化社会の中、若い人のようにスマホ等による手続きが難しい人もいるのでは。そういう人にわかりやすい手続きのやり方を考えてほしい。
- もっとマスコミに登場し、北九州市をアピール。全国紙に掲載されるような事業推進。
- ペーパーで情報発信は時代に沿っていないのでやめてほしい。
- 東京都のWBPC問題と同様の問題はどの行政にもあると思うので、市の支出先の企業団体名と金額を公開すべき。
- TVでもっとアピールしてほしい。
- 行事、催事等の案内がカレンダー形式になっているものもわかりやすいのでは。
- LINEやTwitterで、市政だより等の大事な内容を出してほしい。TVで市政だよりの内容を出してほしい。
- 福岡市のようにLINEでの申し込みなどできるようにしてほしい。LINE情報の充実。
- 年齢やその人の生活情報として、必要な物をセグメントして届けてもらえると嬉しいです。必要なものだけ探す時間がないので。
- 市政だよりなど、関係箇所においておくといいのは。見る人が限定される。もっと多面的に配布を。
- 多くの物を発信するよりも、今回はこれについてと、少なくともよいので面白く。
- 超高齢化社会になりつつ、どれだけの人がPCや携帯を使用できるかを考えてほしい。ネットに頼らない優しい手段をお願いします。
- 正確なデータの発信。誤情報、誤修正の防止。コロナ感染者数情報より。
- 高齢者にわかりやすい方法で発信してほしい。

(9) 市政への関心の度合い

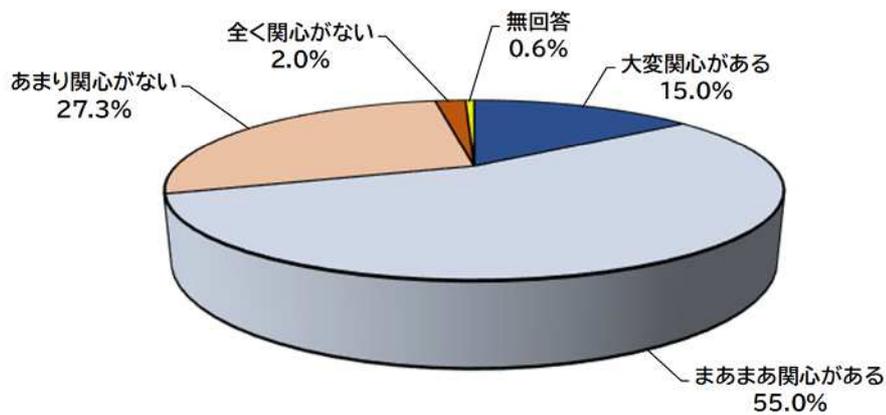
問11 あなたは、北九州市の市政に関心がありますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

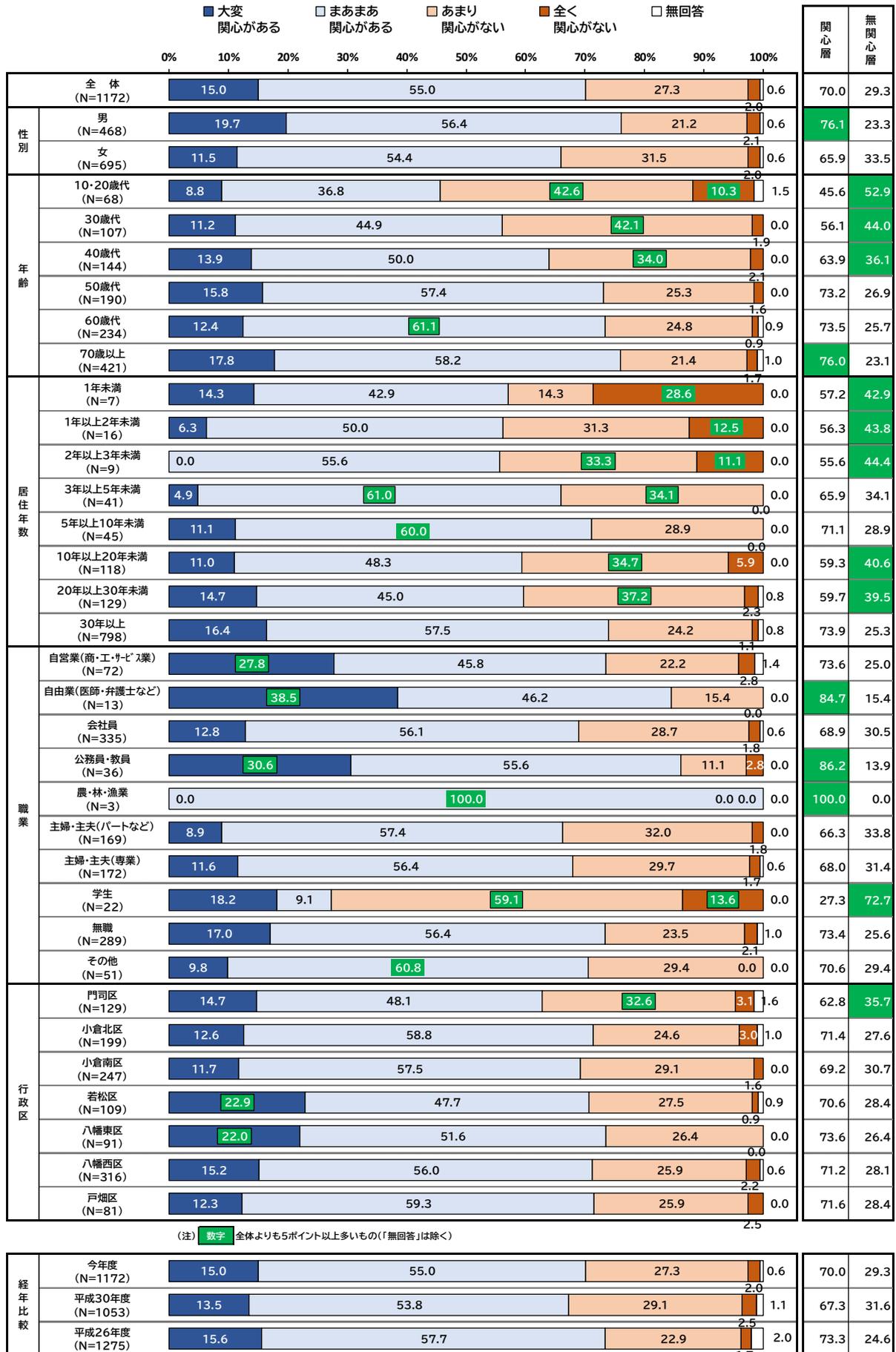
項 目	回答数	割合
1 大変関心がある	176	15.0%
2 まあまあ関心がある	645	55.0%
3 あまり関心がない	320	27.3%
4 全く関心がない	24	2.0%
無回答	7	0.6%

◆ 市政への関心は、

・ 関 心 層 ======>	70.0%
「 大変関心がある 」 + 「 まあまあ関心がある 」	(15%) + (55%)
・ 無 関 心 層 ======>	29.3%
「 あまり関心がない 」 + 「 全く関心がない 」	(27.3%) + (2%)



問 11 市政への関心の度合い



市政への関心の度合い

【全体的傾向】

市政への関心は、「まあまあ関心がある」(55.0%)が最も多く、5割半ばとなっている。次いで「あまり関心がない」(27.3%)、「大変関心がある」(15.0%)の順になっている。

「大変関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心層』は 70.0%となった一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」(2.0%)を合わせた『無関心層』は 29.3%となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では『関心層』が 76.1%、女性では 65.9%となっており、男性の方が 10.2 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢が高いほど『関心層』が多く、年齢が低いほど『無関心層』が多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10 年以上 30 年未満では『無関心層』が 4 割前後と多く、『関心層』が 5 割台にとどまっている。

《職業別にみると》

- 公務員・教員で『関心層』が 86.2%と多くなっている。

《行政区別にみると》

- 門司区と小倉南区で『関心層』6 割台(他の区 7 割台)と少なく、門司区では『無関心層』が 35.7%と多くなっている。

【経年比較】

『関心層』は、平成 26 年度の 73.3%から平成 30 年度には 67.3%に減少し、今年度は 70.0%に増加しているものの、平成 26 年度に比べると 3.3 ポイント減少している。

(10) 市民参加の機会

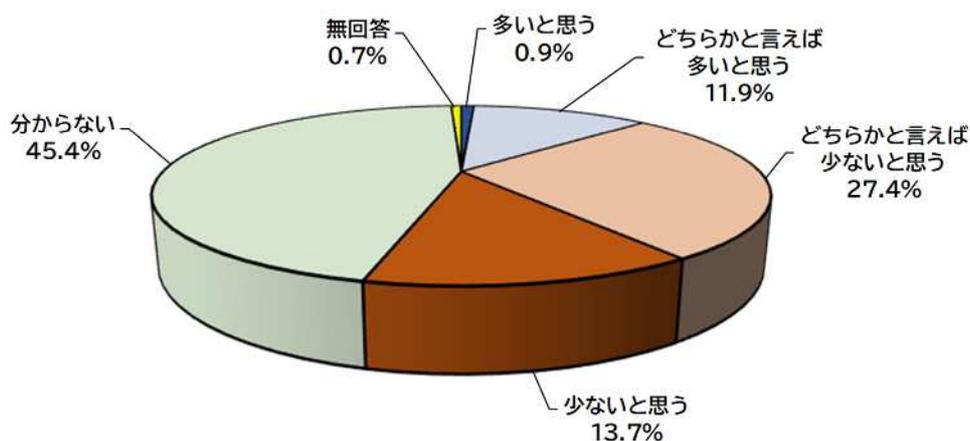
問12 北九州市は市政に対して意見や提案をする(市民参画)の機会が多いと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

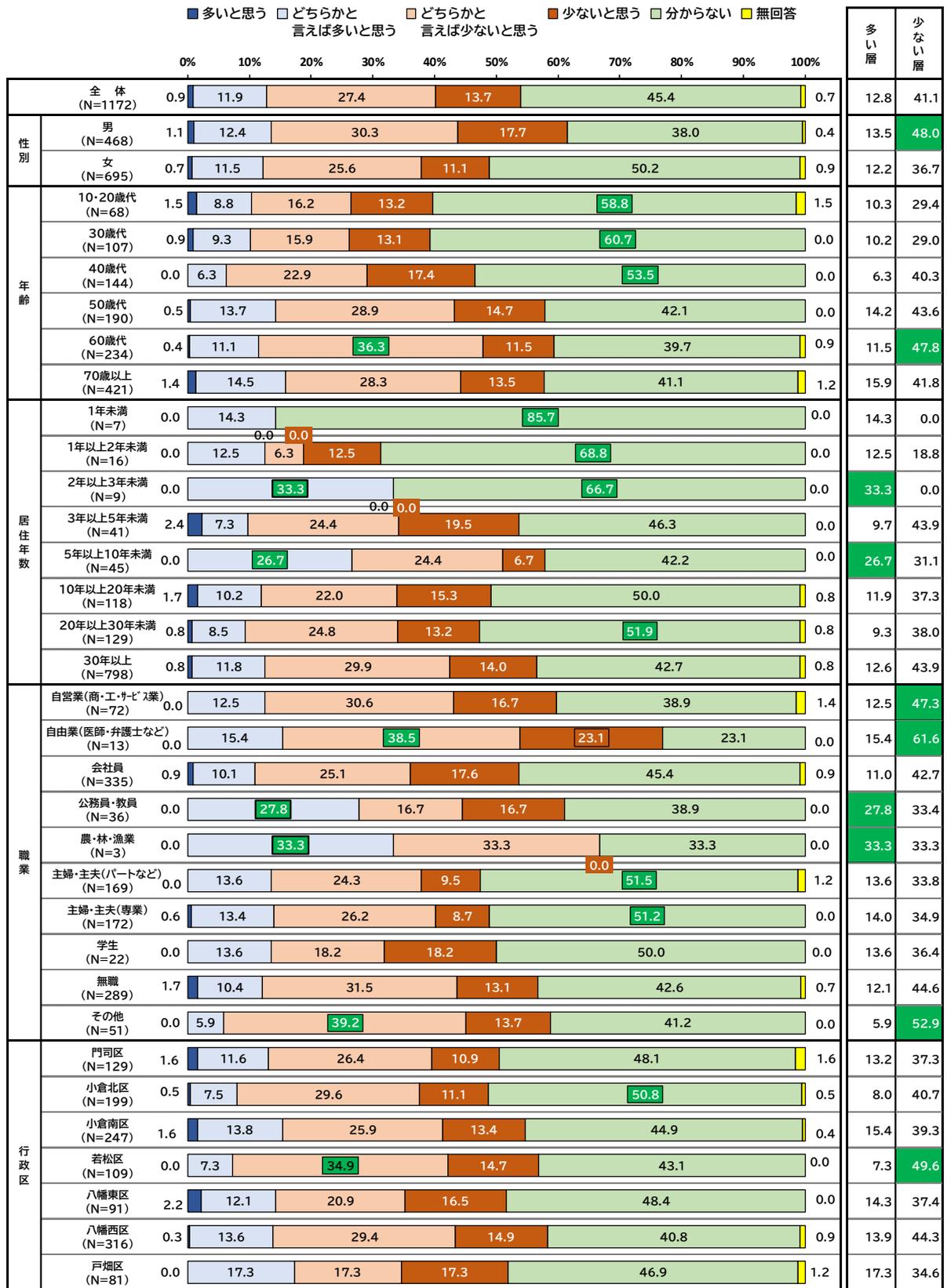
項 目	回答数	割合
1 多いと思う	10	0.9%
2 どちらかと言えば多いと思う	140	11.9%
3 どちらかと言えば少ないと思う	321	27.4%
4 少ないと思う	161	13.7%
5 分からない	532	45.4%
無回答	8	0.7%

◆ 市政に対して意見や提案をする(市民参画)の機会が、

・ 多 い 層 =====>	12.8%
「多いと思う」 + 「どちらかと言えば多いと思う」	(0.9%) + (11.9%)
・ 少 な い 層 =====>	41.1%
「どちらかと言えば少ないと思う」 + 「少ないと思う」	(27.4%) + (13.7%)



問 12 市民参加の機会



(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

経年比較	今年度 (N=1172)	0.9	11.9	27.4	13.7	45.4	0.7	12.8	41.1
	平成30年度 (N=1053)	1.2	16.0	22.2	13.8	45.4	1.3	17.2	36.0
	平成26年度 (N=1275)	2.0	14.7	25.6	13.8	41.7	2.1	16.7	39.4

市民参加の機会

【 全体的傾向 】

市政に対して意見や提案をする(市民参画)の機会が多いと思うかは、「分からない」(45.4%)が最も多くなっている。次いで「どちらかと言えば少ないと思う」(27.4%)、「少ないと思う」(13.7%)の順になっている。

「多いと思う」(0.9%)と「どちらかと言えば多いと思う」(11.9%)を合わせた『多い層』は 12.8%で1割強となり、「どちらかと言えば少ないと思う」と「少ないと思う」を合わせた『少ない層』は 41.1%と4割強となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性では『少ない層』が 48.0%であるが、女性では 36.7%と、11.3 ポイント少なくなっている。

《年齢別にみると》

- 年齢別にみると、『多い層』では年齢間の差はあまり大きくはないが、年齢が高いほど『少ない層』が概ね多くなる傾向にある。

《居住年数別にみると》

- 5年以上10年未満で『多い層』が 26.7%と多くなっている。

《職業別にみると》

- 公務員・教員では『多い層』が 27.8%と多くなっているが、その他では『少ない層』が 52.9%と多くなっている。

《行政区別にみると》

- 若松区、八幡西区、小倉北区で『少ない層』が 4割台で多く、中でも若松区では 49.6%と多くなっている。

【 経年比較 】

『多い層』は、平成 26 年度の 16.7%から平成 30 年度は 17.2%に増加したが、今年度は 12.8%に減少している。逆に、『少ない層』は平成 26 年度の 39.4%から平成 30 年度は 36.0%に減少したが、今年度は 41.1%に増加している。

(11) 市民参加の経験の有無

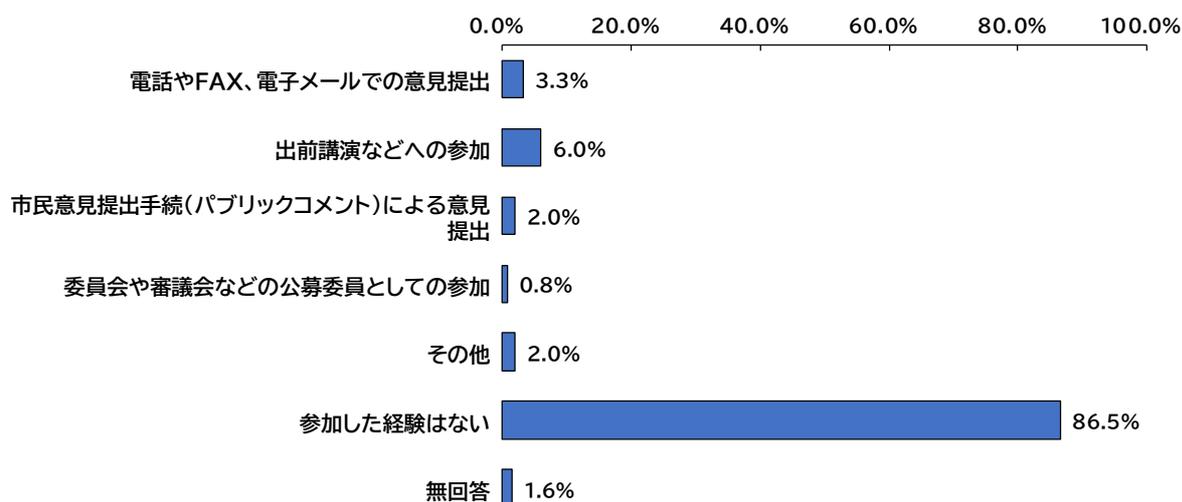
問13 あなたは、これまでに市政に対して意見や提案をした経験がありますか。経験がある方は、1から5の中で、参加したことがあるものを全て選んで、番号に○をつけてください。参加した経験がない方は、6を選んでください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 電話やFAX、電子メールでの意見提出	39	3.3%
2 出前講演などへの参加	70	6.0%
3 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	24	2.0%
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	9	0.8%
5 その他	23	2.0%
6 参加した経験はない	1,014	86.5%
無回答	19	1.6%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 出前講演などへの参加	6.0%
2位 電話やFAX、電子メールでの意見提出	3.3%
3位 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	2.0%



問 13 市民参加の経験の有無

(単位:%)

		サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	出前講演などへの参加	市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	委員会や審議会などの公募委員としての参加	その他	参加した経験はない	無回答
全 体		1172	3.3	6.0	2.0	0.8	2.0	86.5	1.6
性別	男	468	3.8	5.3	2.4	0.9	3.8	85.9	1.3
	女	695	2.9	6.5	1.9	0.7	0.7	86.9	1.9
年齢	10・20歳代	68	4.4	1.5	1.5	0.0	2.9	91.2	1.5
	30歳代	107	1.9	0.9	1.9	0.0	2.8	92.5	0.0
	40歳代	144	2.8	3.5	4.2	0.0	1.4	88.9	2.1
	50歳代	190	3.7	5.3	3.7	0.5	1.1	85.8	1.1
	60歳代	234	3.0	5.6	0.9	1.3	2.1	87.6	0.9
	70歳以上	421	3.6	9.5	1.4	1.2	2.1	83.1	2.6
居住年数	1年未満	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	1年以上2年未満	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	2年以上3年未満	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	3年以上5年未満	41	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0	87.8	2.4
	5年以上10年未満	45	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	97.8	0.0
	10年以上20年未満	118	0.8	4.2	2.5	0.0	1.7	89.8	2.5
	20年以上30年未満	129	4.7	3.9	1.6	2.3	1.6	86.8	1.6
	30年以上	798	3.5	7.5	2.0	0.8	2.4	84.8	1.6
職業	自営業(商・エ・サ・ホ・ニ業)	72	6.9	2.8	1.4	1.4	2.8	81.9	5.6
	自由業(医師・弁護士など)	13	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	84.6	0.0
	会社員	335	3.0	3.0	2.4	0.3	2.1	89.0	1.8
	公務員・教員	36	2.8	8.3	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0
	農・林・漁業	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫(パ・トなど)	169	1.8	6.5	3.0	0.0	0.6	87.6	1.2
	主婦・主夫(専業)	172	1.7	8.7	0.6	1.7	1.2	87.2	1.2
	学生	22	4.5	0.0	4.5	0.0	4.5	90.9	0.0
	無職	289	4.2	8.7	2.4	1.0	3.5	83.0	1.4
	その他	51	3.9	7.8	2.0	0.0	0.0	86.3	2.0
行政区	門司区	129	4.7	7.0	3.1	1.6	4.7	82.9	2.3
	小倉北区	199	4.5	4.0	1.5	0.5	2.0	85.9	2.5
	小倉南区	247	2.0	3.2	1.6	0.4	0.4	91.1	1.6
	若松区	109	3.7	11.0	0.9	1.8	0.0	83.5	0.9
	八幡東区	91	5.5	11.0	1.1	1.1	1.1	86.8	0.0
	八幡西区	316	2.5	6.6	2.5	0.6	2.8	85.4	1.6
	戸畑区	81	2.5	2.5	3.7	0.0	2.5	87.7	1.2

■ 経年比較

年度	サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	出前講演などへの参加	市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	委員会や審議会などの公募委員としての参加	その他	参加した経験はない	無回答
令和5年度	1172	3.3	6.0	2.0	0.8	2.0	86.5	1.6
平成30年度	1053	2.1	4.0	0.8	0.4	1.1	89.6	2.8
平成26年度	1275	2.7	6.4	1.6	1.7	1.1	86.5	2.4

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市民参加の経験の有無

【 全体的傾向 】

これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、「参加した経験はない」(86.5%)が最も多く、8割半ばとなっている。次いで「出前講演などへの参加」(6.0%)、「電話や FAX、電子メールでの意見提出」(3.3%)の順になっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 30歳代で「参加した経験はない」が92.5%と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 5年以上分10年未満で「参加した経験はない」が97.8%と多くなっている。

《職業別にみると》

- 大きな差はみられない。

《行政区別にみると》

- 若松区、八幡東区では「出前講演などへの参加」が各11.0%と多くなっている。

【 経年比較 】

平成26年度、平成30年度、今年度と大きな変化はみられず、いずれの年度も「参加した経験はない」が8割を占めている。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 担当窓口で担当者へ直接。
- ・ 業界の協会を通じて意見交換。
- ・ 学校関係で参加したことがある。
- ・ 地域のことで担当部署に直接電話したことがある。
- ・ ボランティア団体の長として。
- ・ めかり会館(宿泊、釜風呂)存続陳情、調整区域除外意見。
- ・ 労働組合を通じて参加した。

(12) 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

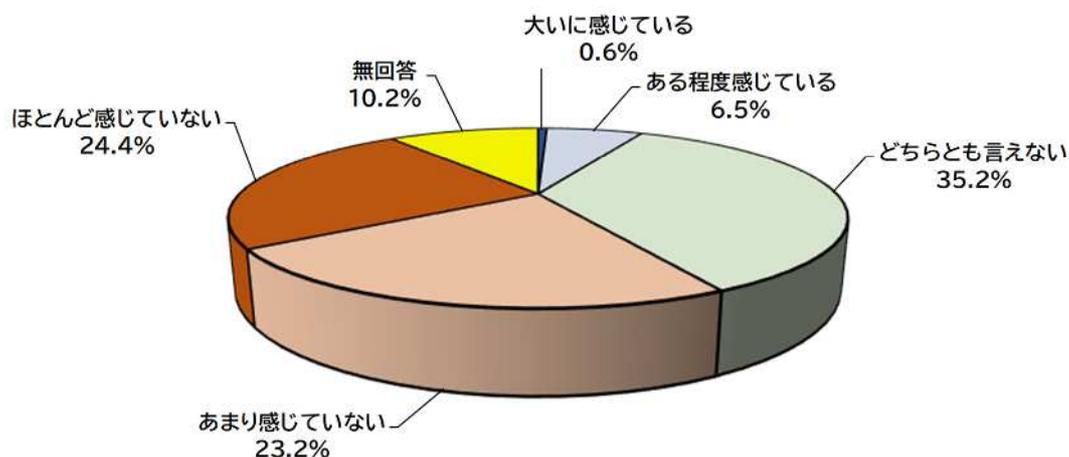
問14 あなたは、あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

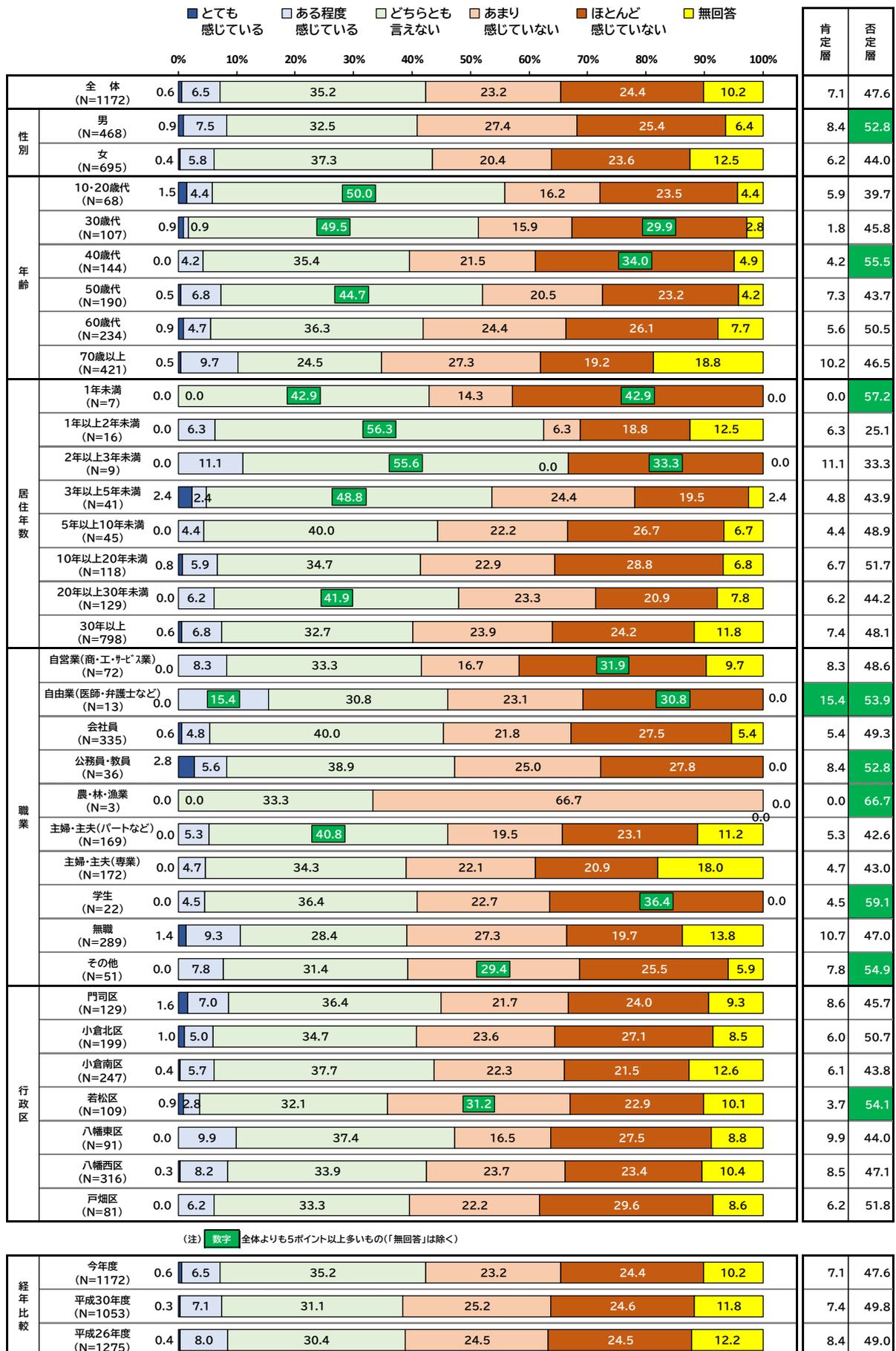
項 目	回答数	割合
1 大いに感じている	7	0.6%
2 ある程度感じている	76	6.5%
3 どちらとも言えない	412	35.2%
4 あまり感じていない	272	23.2%
5 ほとんど感じていない	286	24.4%
無回答	119	10.2%

◆ 市民の満足度は、

・ 肯 定 層 ======>	7.1%
「大いに感じている」+「ある程度感じている」	(0.6%) + (6.5%)
・ 否 定 層 ======>	47.6%
「あまり感じていない」+「ほとんど感じていない」	(23.2%) + (24.4%)



問 14 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感



市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

【全体的傾向】

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、「どちらとも言えない」(35.2%)が最も多く、次いで「あまり感じていない」(23.2%)、「ほとんど感じていない」(24.4%)と続いている。

「とても感じている」(0.6%)と「ある程度感じている」(6.5%)を合わせた『肯定層』は 7.1%と1割未満にとどまった一方、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた『否定層』は 47.6%と約5割となっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では『否定層』が 52.8%あるが、女性では 44.0%となっており、男性の方が 8.8 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 70 歳以上で『肯定層』が 10.2%と多くなっている。
- 40 歳代、60 歳代では『否定層』が 55.5%と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10 年以上 20 年未満で『否定層』が 51.7%と多くなっている。

《職業別にみると》

- その他、公務員・教員で『否定層』が 5 割を超えている。

《行政区別にみると》

- 若松区で『否定層』が 54.1%と最も多く、小倉南区で 43.8%と最も低く、その差は 10.3 ポイントである。

【経年比較】

『関心層』は、平成 26 年度の 8.4%から平成 30 年度は 7.4%、今年度は 7.1%、『否定層』は平成 26 年度の 49.0%から平成 30 年度は 49.8%に増加したものの、今年度は 47.6%に減少し、両者とも平成 26 年度に比べて微減している。

(12) -1 反映されていないと感じる理由

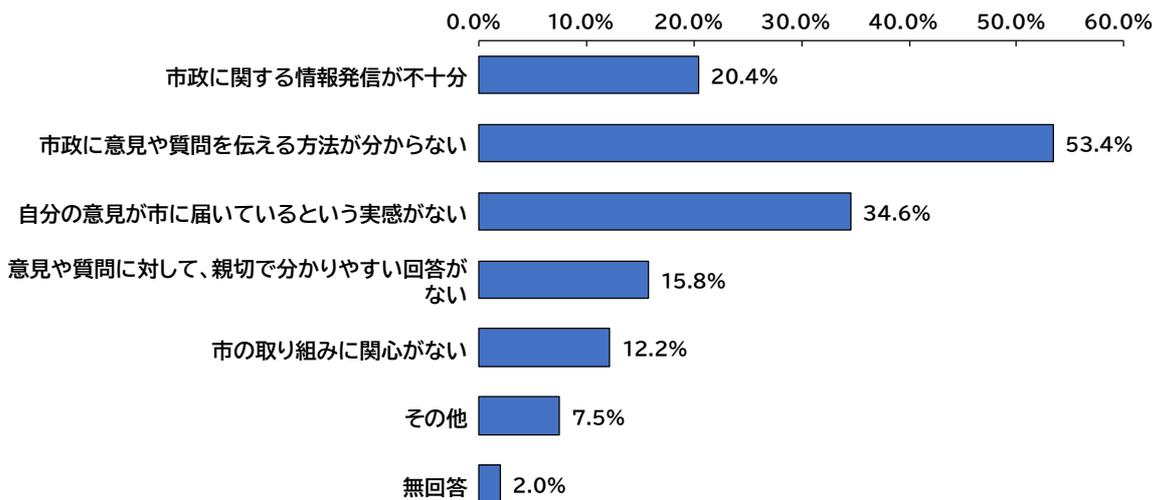
副問14-1 問14で4もしくは5を選んだ理由について、次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=558人

項目	回答数	
1 市政に関する情報発信が不十分	114	20.4%
2 市政に意見や質問を伝える方法が分からない	298	53.4%
3 自分の意見が市に届いているという実感がない	193	34.6%
4 意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	88	15.8%
5 市の取り組みに関心がない	68	12.2%
6 その他	42	7.5%
無回答	11	2.0%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 市政に意見や質問を伝える方法が分からない	53.4%
2位 自分の意見が市に届いているという実感がない	34.6%
3位 市政に関する情報発信が不十分	20.4%



副問 14-1 反映されていないと感じる理由

(単位:%)

	サンプル数	市政に関する情報発信が不十分	市政に意見や質問を伝える方法が分からない	自分の意見が市に届いているという実感がない	意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	市の取り組みに関心がない	その他	無回答	
全体	558	20.4	53.4	34.6	15.8	12.2	7.5	2.0	
性別	男	247	23.5	51.0	35.2	17.8	11.3	7.3	2.0
	女	306	17.6	54.9	34.6	14.1	13.1	7.8	2.0
年齢	10・20歳代	27	22.2	37.0	22.2	7.4	33.3	7.4	3.7
	30歳代	49	16.3	55.1	40.8	10.2	8.2	6.1	4.1
	40歳代	80	18.8	47.5	43.8	16.3	7.5	11.3	1.3
	50歳代	83	16.9	47.0	47.0	21.7	8.4	6.0	0.0
	60歳代	118	33.9	61.0	28.8	15.3	11.0	5.1	3.4
	70歳以上	196	14.8	55.1	30.1	15.8	14.8	8.7	1.5
居住年数	1年未満	4	25.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	4	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	3年以上5年未満	18	11.1	61.1	33.3	0.0	16.7	0.0	5.6
	5年以上10年未満	22	9.1	54.5	40.9	18.2	9.1	9.1	0.0
	10年以上20年未満	61	21.3	47.5	34.4	18.0	11.5	11.5	1.6
	20年以上30年未満	57	28.1	52.6	29.8	19.3	14.0	7.0	0.0
	30年以上	384	19.5	54.2	36.2	15.9	11.5	7.3	2.3
職業	自営業(商・エ・サ・ヒ・ホ業)	35	17.1	42.9	31.4	25.7	2.9	11.4	8.6
	自由業(医師・弁護士など)	7	42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0
	会社員	165	24.2	52.1	39.4	16.4	9.1	7.9	1.8
	公務員・教員	19	15.8	57.9	47.4	15.8	0.0	10.5	0.0
	農・林・漁業	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	72	30.6	58.3	34.7	12.5	12.5	2.8	1.4
	主婦・主夫(専業)	74	12.2	54.1	35.1	13.5	20.3	6.8	1.4
	学生	13	23.1	53.8	23.1	15.4	30.8	7.7	0.0
	無職	136	16.9	55.9	32.4	15.4	14.7	7.4	0.0
	その他	28	10.7	50.0	28.6	7.1	10.7	14.3	10.7
行政区	門司区	59	15.3	47.5	39.0	27.1	11.9	3.4	1.7
	小倉北区	101	19.8	50.5	39.6	16.8	11.9	6.9	5.0
	小倉南区	108	26.9	59.3	29.6	13.0	9.3	8.3	2.8
	若松区	59	15.3	59.3	35.6	20.3	10.2	6.8	1.7
	八幡東区	40	25.0	60.0	27.5	12.5	17.5	7.5	0.0
	八幡西区	149	21.5	46.3	34.9	14.8	14.1	9.4	0.0
	戸畑区	42	11.9	64.3	33.3	4.8	11.9	7.1	2.4

■ 経年比較

年度	サンプル数	市政に関する情報発信が不十分	市政に意見や質問を伝える方法が分からない	自分の意見が市に届いているという実感がない	意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	市の取り組みに関心がない	その他	無回答
令和5年度	558	20.4	53.4	34.6	15.8	12.2	7.5	2.0
平成30年度	524	17.4	51.0	35.5	15.6	17.6	6.3	2.7
平成26年度	625	18.2	55.5	34.4	13.9	13.6	7.0	1.8

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

反映されていないと感じる理由

【 全体的傾向 】

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由は、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(53.4%)が最も多く、5割強となっている。次いで「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(34.6%)、「市政に関する情報発信が不十分」(20.4%)の順になっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 男性では「市政に関する情報発信が不十分」は 23.5%であるが、女性では 17.6%となっており、男性の方が 5.9 ポイント多くなっている。

《年齢別にみると》

- 60 歳代では「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」、「市政に関する情報発信が不十分」、30～50 歳代では「自分の意見が市に届いているという実感が無い」が多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 3 年以上 5 年未満で「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」、5 年以上 10 年未満で「自分の意見が市に届いているという実感が無い」、20 年以上 30 年未満で「市政に関する情報発信が不十分」が多くなっている。

《職業別にみると》

- 公務員・教員で「自分の意見が市に届いているという実感が無い」、主婦・主夫(パートなど)で「市政に関する情報発信が不十分」が多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(戸畑区 64.3%、八幡西区 46.3%:18.0 ポイント差)、「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(小倉北区 39.6%、八幡東区 27.5%:12.1 ポイント差)、「市政に関する情報発信が不十分」(小倉南区 26.9%、戸畑区 11.9%:15.0%)、「意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答が無い」(門司区 27.1%、戸畑区 4.8%:22.3 ポイント差)である。

【 経年比較 】

「市の取り組みに関心がない」が平成 26 年度の 13.6%から平成 30 年度に 17.6%と増加したが、今年度は 12.2%となっており、平成 30 年度に一時的に多くなった以外は、大きな変化はみられない。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 市政に意見や質問をするという考えがなかった。
- ・ 北九州市に限ったことではないが、どんどん生活が苦しくなっています。自公政権になり賃金は

下がり、物価が上がっているのはなぜでしょうか。政治に関わる方々はどこを向いて職務に取り組まれていますか。もっとわかりやすく政治を伝えるとよいのでは。

- 仕事日常生活介護で1日が終わる市政に関心を持つ時間がなかった
- コロナ禍に市外から転入し、自分の生活だけでいっぱい
- 市政に満足していますので意見はありません。
- 年寄りに振りすぎて期待していない。
- 要望は自治会長(町内会長)を通じて行うよう指示された。個人の意見は取り上げて頂けないと感じた。
- 声を届ける行動を取っていない。
- 市民がどのような意見、質問をして、取り組まれているのか知りたい。
- 窓口担当者が市民の声を上に上げているか疑問。
- 提案方法に匿名性が欠け、提案がためられる。
- 町内会へ困った問題を提起しても、解決した実感がない。
- 一個人の意見に取り組んでくれるとはとても思えない。

(13) 市政に意見等を提出したいと考えるか

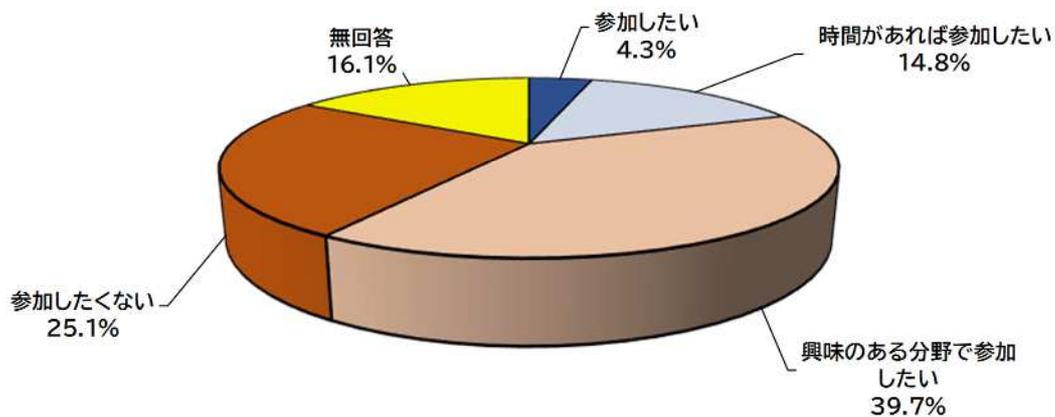
問15 あなたは、今後(または今後も)市政に対して意見や提案をしたい(市民参画)と思いますか。
あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=1,172人

項目	回答数	割合
1 参加したい	50	4.3%
2 時間があれば参加したい	174	14.8%
3 興味のある分野で参加したい	465	39.7%
4 参加したくない	294	25.1%
無回答	189	16.1%

◆ 市政に対して意見や提案をしたい(市民参画)思いは、

・ 参加層	=====>	58.8%
「参加したい」+「時間があれば参加したい」		(4.3%) + (14.8%) + (39.7%)
+「興味ある分野で参加したい」		
・ 不参加層	=====>	25.1%



問 15 市政に意見等を提出したいと考えるか

		■ 参加したい					□ 時間があれば参加したい		□ 興味のある分野で参加したい		□ 参加したくない		□ 無回答		参加層	不参加層
		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%				
性別	全体 (N=1172)	4.3	14.8	39.7	25.1	16.1							58.8	25.1		
	男 (N=468)	5.8	17.3	41.5	18.6	16.9							64.6	18.6		
	女 (N=695)	3.3	13.2	38.6	29.4	15.5							55.1	29.4		
年齢	10・20歳代 (N=68)	13.2	10.3	39.7	25.0	11.8							63.2	25.0		
	30歳代 (N=107)	4.7	15.0	43.0	26.2	11.2							62.7	26.2		
	40歳代 (N=144)	4.2	22.9	38.2	23.6	11.1							65.3	23.6		
	50歳代 (N=190)	3.7	17.9	46.8	17.4	14.2							68.4	17.4		
	60歳代 (N=234)	4.3	15.8	40.2	22.2	17.5							60.3	22.2		
	70歳以上 (N=421)	3.1	10.9	35.9	30.4	19.7							49.9	30.4		
居住年数	1年未満 (N=7)	0.0	14.3	28.6	42.9	14.3							42.9	42.9		
	1年以上2年未満 (N=16)	12.5	0.0	56.3	25.0	6.3							68.8	25.0		
	2年以上3年未満 (N=9)	22.2	11.1	11.1	55.6	0.0							44.4	55.6		
	3年以上5年未満 (N=41)	12.2	9.8	46.3	19.5	12.2							68.3	19.5		
	5年以上10年未満 (N=45)	4.4	8.9	40.0	24.4	22.2							53.3	24.4		
	10年以上20年未満 (N=118)	5.1	15.3	41.5	28.0	10.2							61.9	28.0		
	20年以上30年未満 (N=129)	5.4	14.7	38.0	20.2	21.7							58.1	20.2		
	30年以上 (N=798)	3.3	15.8	39.5	25.2	16.3							58.6	25.2		
職業	自営業(商・エ・サ・ビ・業) (N=72)	5.6	22.2	36.1	18.1	18.1							63.9	18.1		
	自由業(医師・弁護士など) (N=13)	23.1	15.4	38.5	7.7	15.4							77.0	7.7		
	会社員 (N=335)	6.3	20.6	39.1	20.3	13.7							66.0	20.3		
	公務員・教員 (N=36)	5.6	19.4	55.6	11.1	8.3							80.6	11.1		
	農・林・漁業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7							33.3	0.0		
	主婦・主夫(パートなど) (N=169)	3.0	13.6	44.4	26.6	12.4							61.0	26.6		
	主婦・主夫(専業) (N=172)	0.6	5.2	40.1	32.6	21.5							45.9	32.6		
	学生 (N=22)	9.1	13.6	50.0	18.2	9.1							72.7	18.2		
	無職 (N=289)	3.5	11.8	36.3	29.4	19.0							51.6	29.4		
	その他 (N=51)	3.9	15.7	37.3	31.4	11.8							56.9	31.4		
行政区	門司区 (N=129)	6.2	14.0	45.7	24.0	10.1							65.9	24.0		
	小倉北区 (N=199)	3.5	17.6	38.2	23.6	17.1							59.3	23.6		
	小倉南区 (N=247)	3.2	13.4	39.3	26.3	17.8							55.9	26.3		
	若松区 (N=109)	2.8	16.5	45.0	23.9	11.9							64.3	23.9		
	八幡東区 (N=91)	5.5	15.4	41.8	22.0	15.4							62.7	22.0		
	八幡西区 (N=316)	5.4	14.9	36.7	25.3	17.7							57.0	25.3		
	戸畑区 (N=81)	2.5	11.1	37.0	30.9	18.5							50.6	30.9		

(注) 数字 全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

経年比較	今年度 (N=1172)	4.3	14.8	39.7	25.1	16.1							58.8	25.1
	平成30年度 (N=1053)	2.8	13.8	37.2	28.5	17.7							53.8	28.5
	平成26年度 (N=1275)	3.5	15.4	38.8	24.4	18.0							57.7	24.4

市政に意見等を提出したいと考えるか

【全体的傾向】

今後(または今後も)市政に対して意見や提案をしたい(市民参画)と思うかは、「興味のある分野で参加したい」(39.7%)が最も多く、次いで「参加したくない」(25.1%)、「時間があれば参加したい」(14.8%)の順になっている。

「参加したい」(4.3%)と「時間があれば参加したい」「興味のある分野で参加したい」を合わせた『参加層』は58.8%でとなっている。

【属性別にみた傾向】

《性別にみると》

- 男性では『参加層』が64.6%であるが、女性では55.1%となっており、男性の方が9.5ポイント多い。

《年齢別にみると》

- 40・50歳代で『参加層』が多くなっているが、70歳以上では5割を下回り、『不参加層』が3割と多くなる。

《居住年数別にみると》

- 3年以上5年未満で『参加層』が68.3%と最も多くなっている。

《職業別にみると》

- 公務員・教員、会社員で『参加層』が多く、主婦・主夫(専業)、無職では『不参加層』が多くなっている。

《行政区別にみると》

- 門司区、若松区、八幡東区で『参加層』が6割台と多く、戸畑区では『不参加層』が3割と多くなっている。

【経年比較】

平成26年度、平成30年度、今年度と大きな変化はみられない。

(13) -1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか

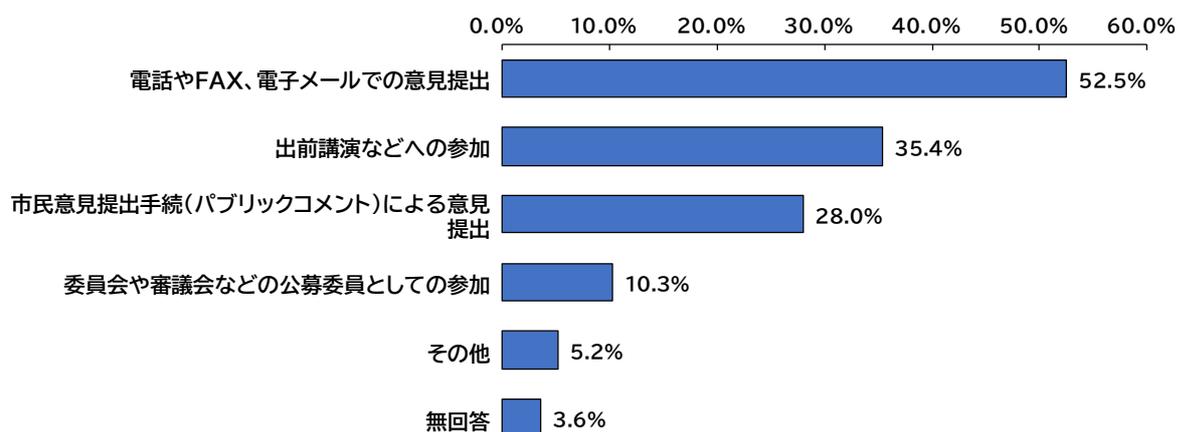
副問15-1 問15で1、2、3を選んだ方におたずねします。あなたが参加するとすれば、どのような方法で参加したいですか。参加したいと思うものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。

N=689人

項目	回答数	割合
1 電話やFAX、電子メールでの意見提出	362	52.5%
2 出前講演などへの参加	244	35.4%
3 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	193	28.0%
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	71	10.3%
5 その他	36	5.2%
無回答	25	3.6%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 電話やFAX、電子メールでの意見提出	52.5%
2位 出前講演などへの参加	35.4%
3位 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	28.0%



副問 15-1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか

(単位:%)

		サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	出前講演などへの参加	市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	委員会や審議会などの公募委員としての参加	その他	無回答
全 体		689	52.5	35.4	28.0	10.3	5.2	3.6
性別	男	302	50.0	32.8	29.8	13.9	6.6	5.6
	女	383	54.3	37.3	26.9	7.6	4.2	2.1
年齢	10・20歳代	43	58.1	4.7	51.2	11.6	7.0	4.7
	30歳代	67	68.7	16.4	37.3	9.0	9.0	1.5
	40歳代	94	55.3	22.3	29.8	12.8	6.4	5.3
	50歳代	130	65.4	36.2	26.2	10.0	1.5	0.8
	60歳代	141	56.0	39.0	27.0	7.8	5.0	1.4
	70歳以上	210	34.3	50.5	21.9	11.4	5.7	6.7
居住年数	1年未満	3	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	11	45.5	45.5	36.4	0.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	28	67.9	14.3	32.1	10.7	7.1	0.0
	5年以上10年未満	24	66.7	25.0	25.0	12.5	4.2	4.2
	10年以上20年未満	73	56.2	24.7	34.2	11.0	4.1	6.8
	20年以上30年未満	75	57.3	21.3	25.3	14.7	6.7	2.7
	30年以上	467	49.9	40.7	27.4	9.6	5.4	3.6
職業	自営業(商・工・サービス業)	46	54.3	26.1	19.6	10.9	6.5	6.5
	自営業(医師・弁護士など)	10	80.0	0.0	0.0	40.0	10.0	10.0
	会社員	221	60.2	25.3	33.9	11.3	4.5	2.3
	公務員・教員	29	51.7	27.6	24.1	10.3	13.8	3.4
	農・林・漁業	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	103	61.2	40.8	26.2	4.9	4.9	2.9
	主婦・主夫(専業)	79	40.5	59.5	19.0	11.4	1.3	1.3
	学生	16	50.0	6.3	43.8	6.3	12.5	6.3
	無職	149	38.9	41.6	28.2	10.7	6.0	6.7
その他	29	51.7	44.8	34.5	10.3	3.4	0.0	
行政区	門司区	85	47.1	41.2	24.7	10.6	3.5	5.9
	小倉北区	118	64.4	30.5	25.4	10.2	5.9	3.4
	小倉南区	138	45.7	42.0	26.8	12.3	2.9	2.9
	若松区	70	48.6	37.1	32.9	10.0	4.3	7.1
	八幡東区	57	59.6	40.4	19.3	14.0	0.0	1.8
	八幡西区	180	51.7	32.2	32.2	8.3	8.3	2.8
	戸畑区	41	53.7	19.5	31.7	7.3	9.8	2.4

■ 経年比較

年度	サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	出前講演などへの参加	市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	委員会や審議会などの公募委員としての参加	その他	無回答
令和5年度	689	52.5	35.4	28.0	10.3	5.2	3.6
平成30年度	567	51.5	41.3	24.5	9.5	3.5	2.8
平成26年度	735	45.4	47.1	24.5	11.2	3.0	4.4

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

どういった方法で市政に意見等を提出したいか

【 全体的傾向 】

市政に対して意見や提案をしたい(市民参画)と思う方法は、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(52.5%)が最も多く、次いで「出前講演などへの参加」(35.4%)、「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」(28.0%)、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」(10.3%)となっている。

【 属性別にみた傾向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 60歳代以下では「電話やFAX、電子メールでの意見提出」が多く、年齢の高いほど多いのが「出前講演などへの参加」で、70歳以上では50.5%と最も多くなっている。
- 10・20歳代では「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」が51.2%と多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 3年以上10年未満では「電話やFAX、電子メールでの意見提出」、30年以上では「出前講演などへの参加」が最も多くなっている。
- 10年以上20年未満では「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」も多くなっている。

《職業別にみると》

- 主婦・主夫(パートなど)では「電話やFAX、電子メールでの意見提出」が最も多いが、主婦・主夫(専業)では「出前講演などへの参加」が最も多くなっている。

《行政区別にみると》

- 行政区で差の大きい上位項目としては、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(小倉北区64.4%、小倉南区45.7%:18.7ポイント差)、「出前講演などへの参加」(小倉南区42.0%、戸畑区19.5%:22.5ポイント差)、「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」(若松区32.9%、八幡東19.3%:13.6ポイント差)となっている。

【 経年比較 】

「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(平成26年度45.4%→平成30年度51.5%→今年度→52.5%)、「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」(平成26年度24.5%→平成30年度24.5%→今年度→28.0%)は増加しているが、「出前講演などへの参加」(平成26年度47.1%→平成30年度41.3%→今年度→35.4%)は減少している。

【 自由記述の回答状況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- SNS
- インターネット・オンライン
- 市役所の参加したいイベントなどに参加して、アンケートなどに答えるやり方
- 簡単な提案方法があれば(役所出先等に)。
- 書面での意見提出。
- 要望を出す場を大きく設置してほしい。目安箱のような。
- WEB などでのアンケート。
- ウェブサイトからの入力フォームによる投稿。
- パソコンが使えないと受け入れない。差別である。文書でも受け入れるよう方法を多様に。
- 市役所等へ具体的に口頭にて。
- LINE や Twitter であれば参加しやすい。
- 公開討論の場で意見を話しやすくすること。
- 職場や子どもの通う教育機関を通じて。
- QR コードを読み取り、質問等に答える方法は手軽に参加しやすい気がします。
- 携帯からできたらいいと思う。

(13) -2 市政に意見等を提出しようとは思わない理由

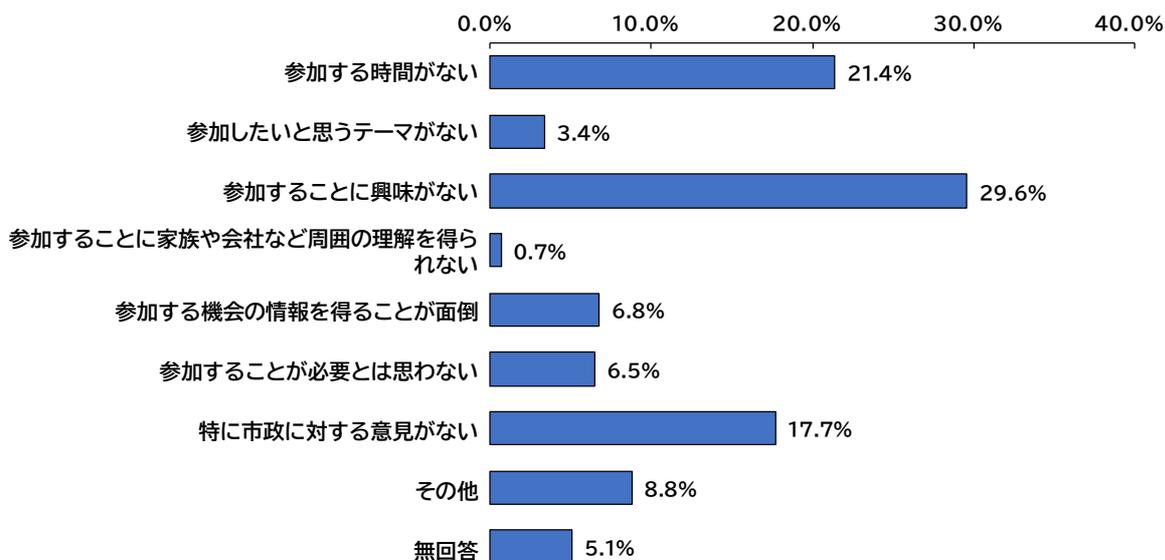
副問15-2 問15で4を選んだ方におたずねします。4を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

N=294人

項目	回答数	割合
1 参加する時間がない	63	21.4%
2 参加したいと思うテーマがない	10	3.4%
3 参加することに興味がない	87	29.6%
4 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない	2	0.7%
5 参加する機会の情報を得ることが面倒	20	6.8%
6 参加することが必要とは思わない	19	6.5%
7 特に市政に対する意見がない	52	17.7%
8 その他	26	8.8%
無回答	15	5.1%

◆ 北九州市からの情報発信の方法について、

1位 参加することに興味がない	29.6%
2位 参加する時間がない	21.4%
3位 特に市政に対する意見がない	17.7%



副問15-2 市政に意見等を提出しようとは思わない理由

(単位:%)

		サンプル数	参加する時間がない	参加したいと思うテーマがない	参加することに興味がない	参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない	参加する機会の情報を得ることが面倒	参加することが必要とは思わない	特に市政に対する意見がない	その他	無回答
全体		294	21.4	3.4	29.6	0.7	6.8	6.5	17.7	8.8	5.1
性別	男	87	24.1	4.6	29.9	0.0	5.7	8.0	14.9	9.2	3.4
	女	204	20.1	2.9	29.9	1.0	6.9	5.9	18.6	8.8	5.9
年齢	10・20歳代	17	35.3	0.0	41.2	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0
	30歳代	28	50.0	3.6	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	3.6
	40歳代	34	32.4	5.9	23.5	0.0	8.8	8.8	11.8	5.9	2.9
	50歳代	33	30.3	0.0	27.3	0.0	3.0	0.0	21.2	9.1	9.1
	60歳代	52	23.1	7.7	34.6	0.0	0.0	13.5	15.4	3.8	1.9
	70歳以上	128	7.0	2.3	30.5	1.6	12.5	7.0	18.8	13.3	7.0
居住年数	1年未満	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	1年以上2年未満	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	3年以上5年未満	8	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0
	5年以上10年未満	11	27.3	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	0.0
	10年以上20年未満	33	30.3	0.0	24.2	0.0	3.0	6.1	27.3	3.0	6.1
	20年以上30年未満	26	38.5	3.8	34.6	0.0	7.7	3.8	7.7	3.8	0.0
	30年以上	201	16.4	3.5	30.3	1.0	8.5	8.0	15.9	10.9	5.5
職業	自営業(商・工・サービス業)	13	30.8	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	30.8
	自由業(医師・弁護士など)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	68	38.2	1.5	25.0	0.0	5.9	2.9	13.2	8.8	4.4
	公務員・教員	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	農・林・漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	45	31.1	8.9	28.9	0.0	0.0	4.4	20.0	4.4	2.2
	主婦・主夫(専業)	56	10.7	0.0	37.5	1.8	10.7	3.6	25.0	5.4	5.4
	学生	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無職	85	7.1	2.4	32.9	1.2	10.6	10.6	17.6	12.9	4.7
	その他	16	18.8	12.5	25.0	0.0	6.3	12.5	6.3	18.8	0.0
行政区	門司区	31	29.0	3.2	35.5	0.0	3.2	9.7	6.5	6.5	6.5
	小倉北区	47	17.0	4.3	38.3	2.1	2.1	4.3	12.8	10.6	8.5
	小倉南区	65	23.1	4.6	26.2	0.0	3.1	7.7	23.1	9.2	3.1
	若松区	26	15.4	0.0	26.9	3.8	11.5	0.0	23.1	15.4	3.8
	八幡東区	20	15.0	5.0	40.0	0.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0
	八幡西区	80	20.0	3.8	26.3	0.0	11.3	6.3	18.8	7.5	6.3
	戸畑区	25	32.0	0.0	20.0	0.0	8.0	4.0	28.0	8.0	0.0

■ 経年比較

年度	サンプル数	参加する時間がない	参加したいと思うテーマがない	参加することに興味がない	参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない	参加する機会の情報を得ることが面倒	参加することが必要とは思わない	特に市政に対する意見がない	その他	無回答
令和5年度	294	21.4	3.4	29.6	0.7	6.8	6.5	17.7	8.8	5.1
平成30年度	300	30.3	4.0	20.7	0.7	5.0	10.7	16.0	11.0	1.7
平成26年度	39	28.2	5.1	17.9	0.0	10.3	10.3	23.1	5.1	0.0

(注) 太字 全体より5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 市 政 に 意 見 等 を 提 出 し よ う と は 思 わ な い 理 由 】

【 全 体 的 傾 向 】

市政に対して意見や提案をする(市民参画)ことに、「参加したくない」と思う理由は、「参加することに興味がない」(29.6%)が最も多く、次いで、「参加する時間がない」(21.4%)「特に市政に対する意見がない」(17.7%)の順になっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

《性別にみると》

- 大きな差はみられない。

《年齢別にみると》

- 30～50 歳代では「参加する時間がない」、10・20 歳代、60 歳代以上では「参加することに興味がない」が最も多くなっている。

《居住年数別にみると》

- 10～30 年未満では「参加する時間がない」、30 年以上では「参加することに興味がない」が最も多くなっている。

《職業別にみると》

- 会社員、主婦・主夫(パートなど)では「参加する時間がない」、主婦・主夫(専業)、無職では「参加することに興味がない」が最も多くなっている。

《行政区別にみると》

- 戸畑区では「参加する時間がない」が最も多くなっているが、それ以外の区では「参加することに興味がない」が最も多くなっている。

【 経 年 比 較 】

平成 26 年度、平成 30 年度では「参加する時間がない」が最も多かったが、今年度は 21.4%で2位となっている。また、「特に市政に対する意見がない」も平成 26 年度の 23.1%から平成 30 年度は 16.0%、今年度は 17.7%となっており、平成 26 年度に比べて 5.4 ポイント減少している。そうした中で、「参加することに興味がない」は、平成 26 年度の 17.9%から平成 30 年度は 20.7%、今年度は 29.6%に増加しており、平成 26 年度に比べて、12.0 ポイント増加している。

【 自 由 記 述 の 回 答 状 況 】

自由記述欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 期待できない。
- ・ 改善が見られない。
- ・ リモートでやればいいと思う。
- ・ 人前に出ると上がるので。
- ・ 対論が苦手。
- ・ 高齢でそのエネルギーがない。